

AHD カメラ

ICB-AH201, ICB-AH201-1N, ICD-AH202V-v2, ICD-AH202V1N, ICD-AH202VIR, ICD-AH202VIR1N, ICI-AH203V, ICI-AH203V1N, ICVD-AH204V, ICVD-AH204V1N, ICS-AH221-DC-v2, ICS-AH221-VPN-v2

各機種共通

GUI 説明書

取説 Ver. 5.00

F/W Ver. A779X71 1A

<おことわり>

- この GUI 説明書は、発行時点で弊社が販売している AHD カメラに関する記述を含んでおります。従いましてお客様が購入された機種には存在しないメニューの説明が含まれている場合があります。また、この説明書が発行された後に追加された機能が含まれていない場合があります。
- 設定メニュー内の項目やその選択肢及び初期設定値は、TVI 4M Pixel (1440p) 30FPS フォーマットの場合のものです。
- この GUI 説明書は紙面の都合上、映像技術・テレビジョン技術・照明技術・電子技術等、関連技術に関する一定程度の基礎知識を有するカメラ設置技術者を対象として記述しております。



- この度は、AHD カメラをお求めいただきありがとうございます。
- 本機をご使用前に、この GUI 説明書をお読みいただき、製品の機能や操作法について、十分ご理解いただいた上で、正しく使用していただきますよう、お願い致します。

目次

| | |
|------------------------------------|----------|
| 1. 凡例 | 5 |
| 1.1. メニュー項目の図に使用する記号と表記法 | 5 |
| 1.2. 本書で使われる各種表記 | 5 |
| 2. 基本操作 | 6 |
| 2.1. 解像度と垂直周波数（ビデオモード）の切換え | 6 |
| 3. UTC 操作 | 7 |
| 3.1. DVR からの操作 | 7 |
| 3.2. VMS からの操作 | 8 |
| 4. セットアップメニュー | 9 |
| 4.1. メインメニュー..... | 9 |
| 4.1.1. フォーカス調整 | 12 |
| 4.1.1.1. フォーカス調整の方法 | 13 |
| 4.1.2. 露光 | 14 |
| 4.1.2.1. オート（露光→シャッタースピード） | 15 |
| 「レンズ」を「DC」に設定した場合 | 15 |
| 「レンズ」を「マニュアル」に設定した場合 | 16 |
| 4.1.2.2. マニュアル（露光→シャッタースピード） | 16 |
| 4.1.3. 逆光補正 | 17 |
| 4.1.3.1. ハイライト補正（逆光補正） | 17 |
| 4.1.3.2. バックライト補正（逆光補正） | 17 |
| 4.1.3.3. WDR（逆光補正） | 19 |
| 4.1.3.3.1. ROI（逆光補正→WDR） | 21 |
| 4.1.4. デイ&ナイト | 22 |
| 4.1.4.1. オート（デイ&ナイト） | 22 |
| 4.1.4.2. モノクロ（デイ&ナイト） | 23 |
| 4.1.4.3. 外部（デイ&ナイト） | 24 |
| 4.1.5. ホアイトバランス | 25 |
| 4.1.5.1. マニュアル（ホワイトバランス→AWB） | 26 |
| 4.1.6. イメージ | 27 |

| | | |
|----------|---|----|
| 4.1.6.1. | 曇り除去 (イメージ) | 28 |
| 4.1.6.2. | プライバシー (イメージ) | 29 |
| 4.1.7. | モーション | 31 |
| 4.1.7.1. | DET WINDOW (モーション) | 33 |
| 4.1.8. | システム | 35 |
| 4.1.8.1. | USER (システム→IMAGE RANGE→USER) | 37 |
| 4.1.8.2. | CAM TITLE (システム→CAM TITLE→RIGHT UP (LEFT DOWN)) | 37 |

警告

カメラには定期点検が必要です。

点検は、技術のあるサービスマンが行ってください。

故障を発見したら、直ちにカメラの使用を止めてください。

カメラから煙が出たり、高温になっていたりする場合は、火災の危険性があります。

頑丈な場所に取り付けてください。

カメラを天井や壁面等に取り付ける際には、落下防止のため頑丈な下地のある部分に設置してください。

安全な場所に取り付けてください。

カメラは、歩行者や自転車等が接触しない安全な場所に取り付けてください。

カメラを分解しないでください。

火災や感電の危険性があります。

濡れた手で取り扱わないでください。

感電の危険性があります。

ガスや油漏れのあるところでカメラを使用しないでください。

火災等の危険性があります。

注意

極端な温度条件の場所にカメラを設置しないでください。

カメラは-10～50℃の温度範囲でご使用ください。特に高温になる場所では換気に注意してください。

湿度の高い環境でカメラを設置及び使用しないでください。

画質が悪くなることがあります。

不安定な照明条件の場所にカメラを設置しないでください。

断続的に変化する照明やチラつきのある照明は、カメラの動作を不安定にすることがあります。

カメラの対物レンズに手を触れないでください。

カメラで最も重要な部品の一つです。指紋で汚さないようご注意ください。

カメラを落としたり衝撃を与えたりしないでください。

故障することがあります。

カメラの正面に強い光を当て続けしないでください。

C-MOS センサーを傷めることがあります。

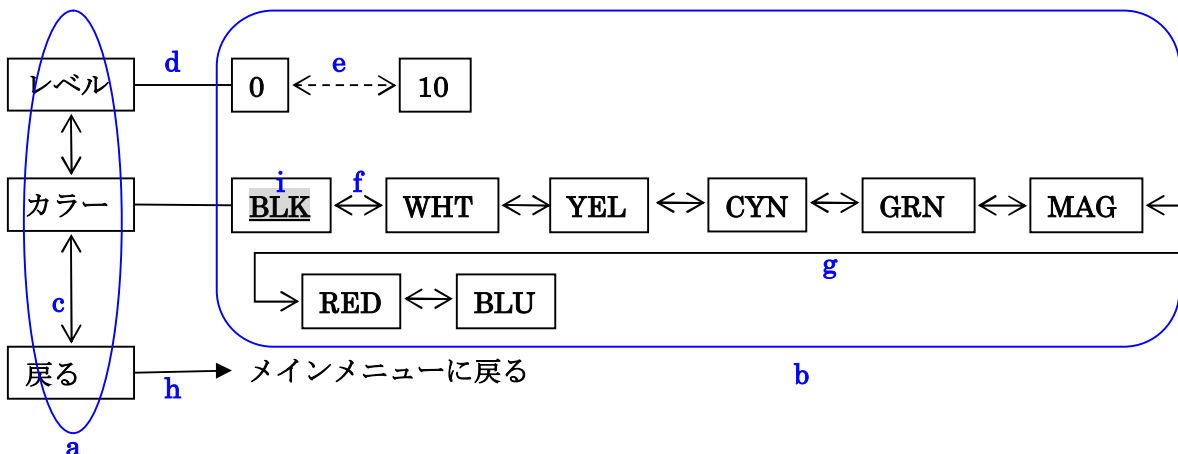
正しい電圧と極性の電源をご使用ください。

カメラの電源電圧と極性は、本体の表示に従って正しく接続してください。動作電圧範囲は特に表示がない場合、定格電圧±10%（DC12V のカメラの場合 10.8～13.2V）です。配線距離が長い場合には、電線の導体抵抗による電圧降下にもご注意ください。

1. 凡例

1.1. メニュー項目の図に使用する記号と表記法

OSDメニューの図に使用する線と矢印等には次のような意味があります。



- “a” の丸で囲った部分の四角い枠内には各メニューの項目名を示します。
- “b” の四角で囲った部分の枠内には各項目で選択可能な選択肢または調整範囲を示します。
- “c” の縦矢印は上下ボタンで選択項目を移動出来ることを示します。
- “d” の横直線は、その左側が項目名で右側がその項目の調整範囲または選択肢であることを示します。
- “e” の点線横矢印は、その項目が調整項目であることを意味し、その両側が調整範囲の下限と上限を示します。
- “f” の左右矢印は、その項目が選択項目であることを意味し、その両側が選択肢であることを示します。また、紙面の都合で1行に収まらない場合は“g”の迂回矢印で続きを次の行に記述します。
- “h” の三角矢印は、その向きに関係なく“SETUP”ボタンを押すことで、矢印の先に記述された項目にジャンプすることまたは、コマンドを実行することを示します。
- “i” の **強調表示** はカメラをリセットした場合の初期設定値であることを示します。

1.2. 本書で使われる各種表記

| 表記の例 | 説明 |
|--------------|---|
| < 情報 > | 知っておくと便利な機能や関連情報を記述します。 |
| < 注意 > | 製品を正しくご使用いただくための注意事項を記述します。 |
| < 予定機能 > | 現在開発中の機能や、日本以外の国で使用されることを前提とした機能、弊社で取り扱わないサードパーティー製オプション製品、等の理由によって取扱説明書発行時点で弊社が技術サポートをおこなわない機能に対して記述します。 |
| < 変更禁止 > | 設定を変更する事によって不具合・誤作動・故障等の原因となるため、設定変更を禁止している項目です。 |
| 参照 → 12 ページ | 関連事項に関する参照先のページを示します。 |
| 1, 5, 10, 20 | 強調表示 は、初期設定値であることを示します。 |

2. 基本操作

カメラの OSD メニュー操作は、OSD ノブで行います。

OSD ノブの操作方向は、上(U)・下(D)・左(L)・右(R)・中央(SETUP/ENT)の5つです。

上▲(U)方向に倒すように押す：メニューの項目を上に移動します。

下▼(D)方向に倒すように押す：メニューの項目を下に移動します。

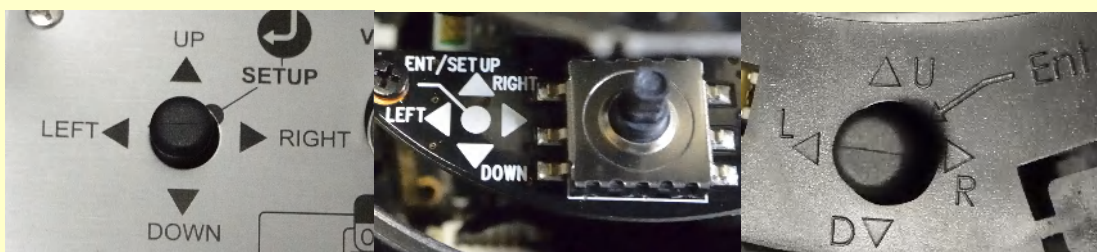
左◀(L)方向に倒すように押す：選択されている項目の値を変更します。値が数値の場合は下げます。

右▶(R)方向に倒すように押す：選択されている項目の値を変更します。値が数値の場合は上げます。

中央(S) まっすぐ押す： OSD メニューに入ります。 OSD メニュー内の場合には選択項目の実行や別のメニュー階層へのジャンプに使用します。

< 注意 >

- 上下左右の方向ボタンの操作方向は、パネルや基板に印字または刻印された標識の方向に従ってください。地表から見た方向ではありませんのでご注意ください。



- OSD ノブ長押し (倒し) による解像度変更機能は廃止されました。

2.1. 解像度と垂直周波数（ビデオモード）の切換え

本機は解像度と垂直周波数を 1080p_30Hz (2M), 1080p_25Hz (2M), 720p_30p (1M), 720p_25p (1M), 720p_60p (1M), 720p_50p (1M) から選択出来ます。

| ビデオモード | 走査方式 | 垂直周波数 (FREQ) | フレームレート |
|-------------------|-------|--------------|----------|
| NTSC 日本・米国・韓国等 | 1080p | 30Hz | 1080 30P |
| | 720p | 30Hz | 720 30P |
| | 720p | 60Hz | 720 60P |
| PAL 英国等 | 1080p | 25Hz | 1080 25P |
| | 720p | 25Hz | 720 25P |
| | 720p | 50Hz | 720 50P |

走査方式と垂直周波数は「システム」メニュー内の「フレームレート」と「FREQ」で切り換えます。

参照→35 ページ

< 注 意 >

- 「フレームレート」と「FREQ」は誤操作防止のため UTC 制御で切り換える事は出来ません。必ずカメラ本体の OSD ノブの操作で切り換えてください。
- 25Hz (PAL) モードは海外市場向けのモードです。一般的な日本国内市場向けの映像機器とは互換性がないので設定しないでください。(弊社 PDR シリーズでは誤って切り換えた場合、映像が映らなくなります。)
- 「720 60P」及び「720 50P」は弊社 IRV シリーズ及び PDR シリーズではサポートしていません。(弊社 PDR シリーズでは誤って切り換えた場合、映像が映らなくなります)

3. UTC 操作

本機は、弊社の IRV シリーズの DVR からメニューの遠隔操作が出来ます。DVR から UTC 制御が出来るようにするには、DVR で UTC 制御が可能な状態に設定していただく必要があります。詳しくは DVR の設置取扱説明書をご覧ください。

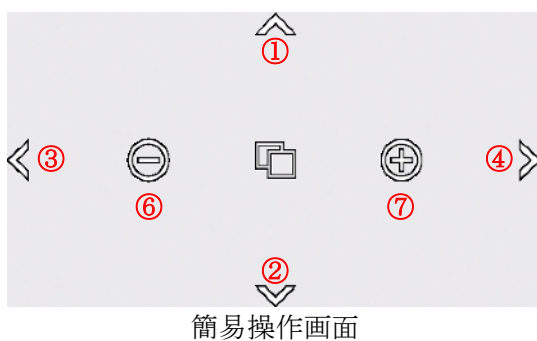
本機で利用可能なプロトコルは IRV シリーズでは「COAX_OSD」です。

< 注 意 >

- UTC 制御では、ビデオフォーマットやビデオモード等、一部操作できない操作範囲があります。
- カメラと DVR の間に UTC 非対応機器が接続されている場合、UTC 制御は利用できません。

3.1. DVR からの操作

DVR の PTZ 操作の次のボタンが OSD ノブの操作に対応します。



詳細操作画面



| 番号 | OSD ノブの対応 | 備考 |
|----|-----------|----------------------------------|
| ① | UP(上) | メニュー内でのみ利用可能です。ズーム操作には利用できません。 |
| ② | DOWN(下) | メニュー内でのみ利用可能です。ズーム操作には利用できません。 |
| ③ | LEFT(左) | メニュー内でのみ利用可能です。フォーカス操作には利用できません。 |
| ④ | RIGHT(右) | メニュー内でのみ利用可能です。フォーカス操作には利用できません。 |
| ⑤ | S(中央) | |
| ⑥ | DOWN(下) | ズームをワイド（広角）方向に動かします。 |
| ⑦ | UP(上) | ズームをテレ（望遠）方向に動かします。 |
| ⑧ | RIGHT(右) | フォーカスを近くに動かします。 |
| ⑨ | LEFT(左) | フォーカスを遠くに動かします。 |

< 注 意 >
ボタンの「遠」「近」とは逆になります。

3.2. VMS からの操作

VMS の PTZ 操作の次のボタンが OSD ノブの操作に対応します。



| 番号 | OSD ノブの対応 | 備考 |
|----|-----------|----------------------------------|
| ① | UP(上) | メニュー内でのみ利用可能です。ズーム操作には利用できません。 |
| ② | DOWN(下) | メニュー内でのみ利用可能です。ズーム操作には利用できません。 |
| ③ | LEFT(左) | メニュー内でのみ利用可能です。フォーカス操作には利用できません。 |
| ④ | RIGHT(右) | メニュー内でのみ利用可能です。フォーカス操作には利用できません。 |
| ⑤ | S(中央) | |
| ⑥ | DOWN(下) | ズームをワイド（広角）方向に動かします。 |
| ⑦ | UP(上) | ズームをテレ（望遠）方向に動かします。 |
| ⑧ | RIGHT(右) | フォーカスを近くに動かします。 |
| ⑨ | LEFT(左) | フォーカスを遠くに動かします。 |

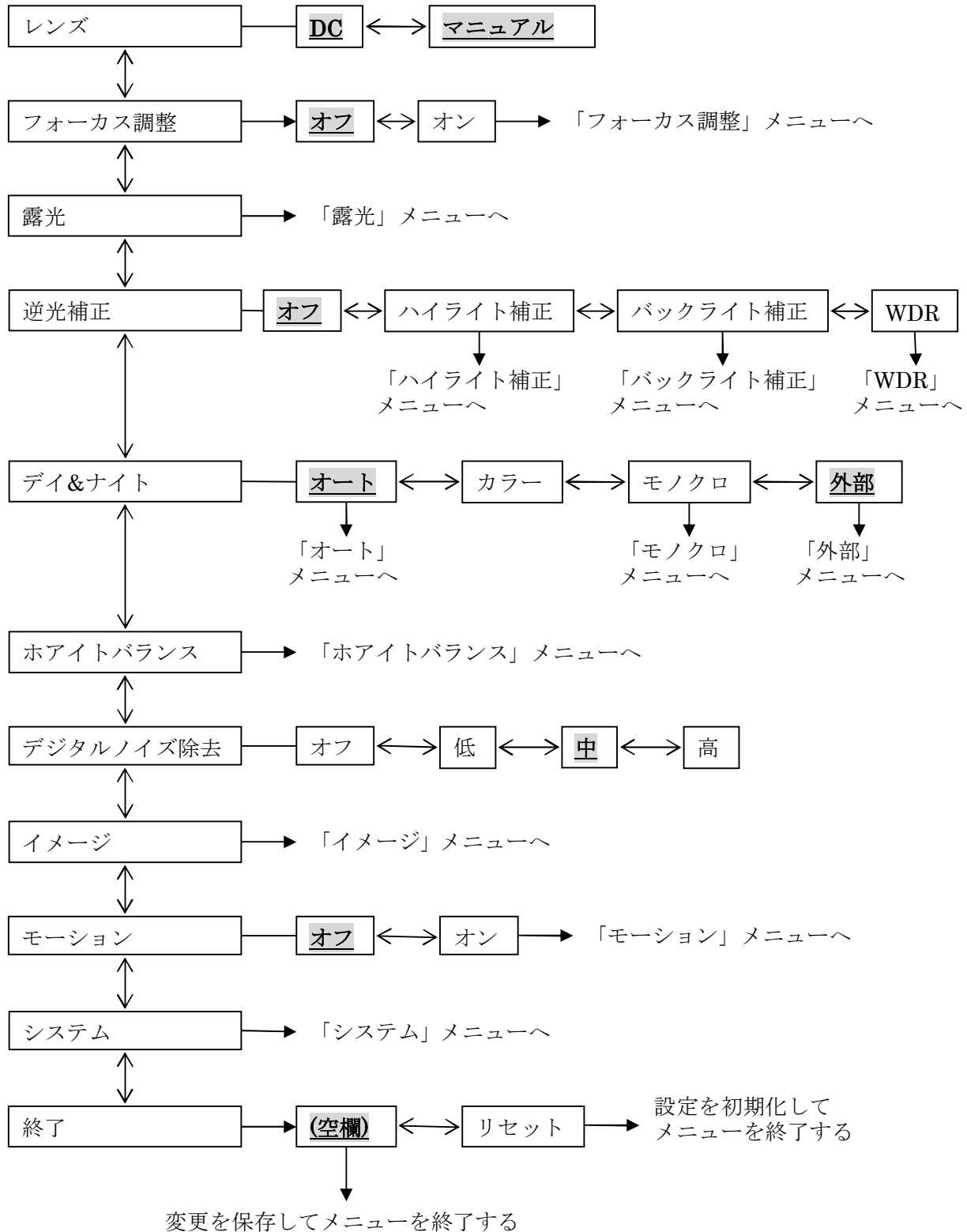
< 注 意 >

- ネットワーク経由の UTC 制御は、通信事情により遅延が発生する場合があります。操作してから表示が変化するまでに時間がかかる場合は、1 回毎に表示の変化を確認しながらゆっくり操作してください。
- ネットワーク経由の UTC 制御は、通信事情により命令が到達しない場合があります。
- P2P 接続の場合、UTC 制御はご利用いただけません。

4. セットアップメニュー

4.1. メインメニュー

メニューが表示されていない状態から OSD ノブをまっすぐ押す (S)とメインメニューに入ることができます。メインメニューを終了するには、メインメニューで「終了」を選択します。



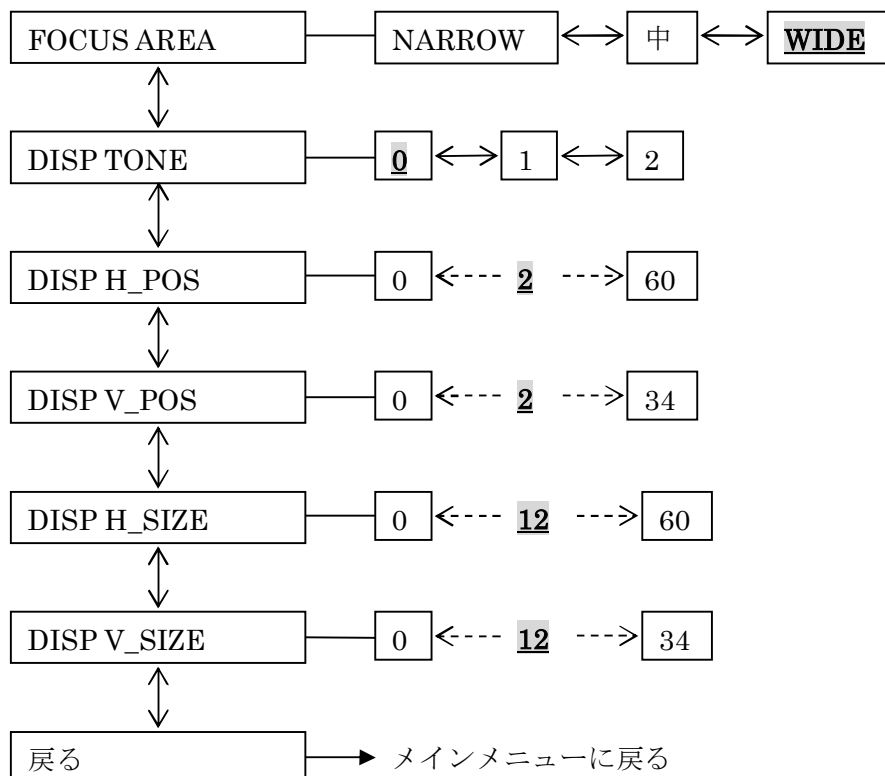
メインメニューの中には次表の項目があります。

| 項目 | 説明 |
|---------|--|
| レンズ | <p>搭載されているレンズの種類に合わせて次のモードを選択します。</p> <p>D C : DC オートアイリスレンズが搭載されているカメラでは、こちらを選択します。(AH201, 202, 203, 204 シリーズの初期値)</p> <p>マニュアル : アイリスを持たないレンズが搭載されている機種用のモードです。DC アイリスレンズを使用している場合でも、マニュアルフォーカス機能を利用する場合には、調整中に一時的にこちらのモードを使用するとフォーカスが合わせ易くなります。(AH221 シリーズの初期値)</p> |
| フォーカス調整 | <p>フォーカス調整を補助するためのグラフを表示する機能です。</p> <p>オフ : フォーカス調整を補助するためのグラフを表示しません。</p> <p>オン : フォーカス調整を補助するためのグラフを表示します。さらに ENT/SET ボタンで「フォーカス調整」メニューに入ります。 参照→12 ページ</p> |
| 露光 | <p>「露光」メニューに入ります。このメニューでは被写体の明るさに適したカメラの設定が出来ます。 参照→14 ページ</p> |
| 逆光補正 | <p>「逆光補正」では、極端な明暗差のある被写体を撮影する場合に適したカメラの設定が出来ます。この機能には「ハイライト補正」「バックライト補正」「WDR」の3つの動作モードがあり、どれか一つを選択することが出来ます。また、各モードにはメニューがあり動作の詳細を設定することが出来ます。</p> <p>オフ : 逆光補正を適用しません。</p> <p>ハイライト補正 : 照明のような被写体の極端に明るい部分を黒く塗りつぶします。黒潰れが発生しやすい古いブラウン管式モニターを使用している場合等に適しています。 参照→17 ページ</p> <p>バックライト補正 : 被写体の適正な明るさで撮りたい部分を指定して露出を自動調整します。 参照→17 ページ</p> <p>W D R : 同じ被写体を高速シャッターと低速シャッターで連続撮影し、両者の映像を合成する方法で明暗差の強い被写体のコントラスト差を圧縮します。広い明暗差に対応出来ますが使用する照明との相性によっては映像に乱れを生じたりする場合があります。 参照→19 ページ</p> |

| | |
|-------------------|---|
| <p>デイ&ナイト</p> | <p>「デイ&ナイト」では、カラー撮影とモノクロ撮影を切り換えるための設定が出来ます。また、モノクロ撮影時にはIR（赤外線）撮影が出来ます。 この設定には「オート」「カラー」「モノクロ」「外部」の4つのモードがあり、さらに「オート」「モノクロ」「外部」にはメニューがあり動作の詳細を設定することが出来ます。</p> <p>オート：カメラの撮像素子に入る光量を基にカラーとモノクロを自動的に切り換えるモードです。CdS センサーを持たない機種（AH201, 202, 221 シリーズ）で自動切り替えをおこなう場合はこのモードを選択します。CdS センサーを持たない機種の初期設定値になります。 参照→22 ページ</p> <p>カラー：被写体や周囲の明るさに関係なくカラーで撮影するモードです。</p> <p>モノクロ：被写体や周囲の明るさに関係なくモノクロで撮影するモードです。 参照→23 ページ</p> <p>外部：撮像素子とは別の CdS センサーで感知した周囲の明るさを基にカラーとモノクロを切り換えます。CdS センサーを持っている機種（AH202VIR, AH203, AH204 シリーズ）で自動切り替えをおこなう場合はこのモードを選択します。CdS センサーを持っている機種の初期値になります。 参照→24 ページ</p> |
| <p>ホワイトバランス</p> | <p>「ホワイトバランス」メニューに入ります。このメニューでは白バランス補正に関する設定が出来ます。 参照→25 ページ</p> |
| <p>デジタルノイズ除去</p> | <p>暗い被写体を撮影した場合に、映像がザラザラして見える現象を軽減することが出来ます。効果の強さを「オフ」「低」「中」「高」から選択出来ます。効果を強くすると、ノイズは少なくなりますが、アスファルトのようなザラザラした被写体の再現性が悪くなったり、動きのある映像に残像が発生したりしますので、不快に感じない程度に適切に設定してください。</p> |
| <p>イメージ</p> | <p>撮影された映像の画質等を微調整するためのメニューに入ることが出来ます。 参照→27 ページ</p> |
| <p>モーション</p> | <p>被写体の動きを検出して囲み線（または塗り潰し）と文字を表示して知らせる機能です。 オフ：モーション検出機能を使用しません。 オン：モーション検出機能を使用します。この機能には詳細を設定するメニューがあります。 参照→31 ページ</p> |
| <p>システム</p> | <p>システムに関する詳細を設定するためのメニューに入ることが出来ます。 参照→31 ページ</p> |
| <p>終了</p> | <p>変更を保存してメニューを終了、またはカメラを工場出荷状態にリセットします。</p> |

4.1.1. フォーカス調整

「フォーカス調整」メニューでは、フォーカス調整を補助するためのグラフを表示するための設定を変更します。



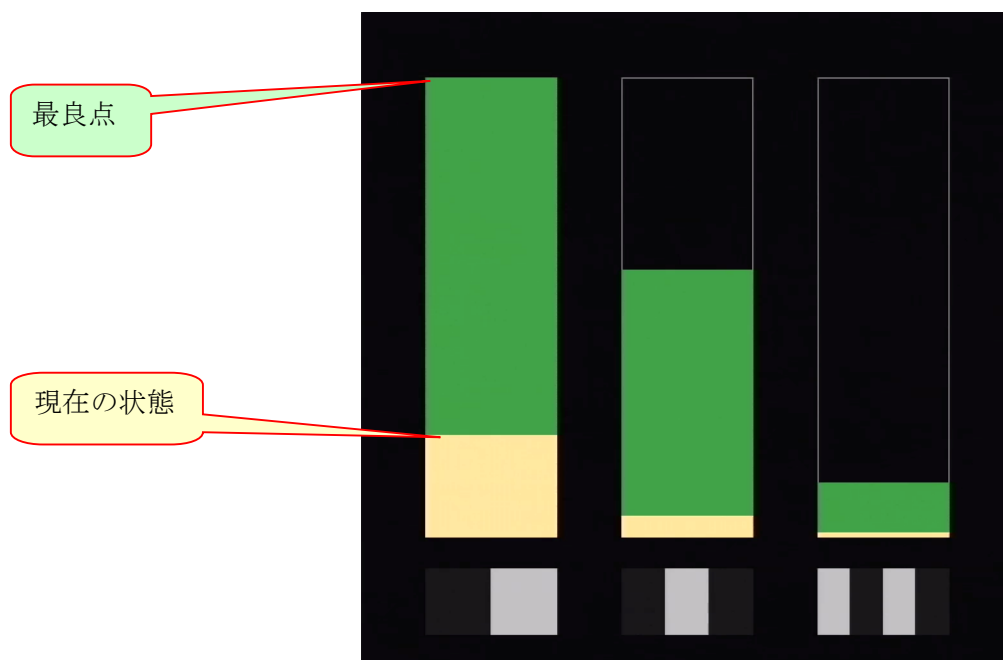
| 項目 | 説明 | | | | | | |
|------------|---|--------|---|------|--|--|--|
| FOCUS AREA | <p>フォーカス調整の状態を検出する画面上の範囲を次の3つから選択出来ます。</p> <p>NARROW：範囲を狭くします。</p> <p>中：範囲を中間の大きさにします。</p> <p>W I D E：範囲を画面全体に広げます。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>NARROW</th> <th>中</th> <th>WIDE</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | NARROW | 中 | WIDE | | | |
| NARROW | 中 | WIDE | | | | | |
| | | | | | | | |
| DISP TONE | <p>画面上に表示するフォーカス調整用グラフの不透明度を <u>0</u> ~ 2 の範囲で調整します。この調整は値が大きくなるほど透けなくなります。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | 0 | 1 | 2 | | | |
| 0 | 1 | 2 | | | | | |
| | | | | | | | |

| | |
|-------------|---|
| DISP H_POS | 画面上に表示するグラフの水平方向の位置を0～ 2 ～60の範囲で調整します。値が大きいほどグラフは右に表示されます。 |
| DISP V_POS | 画面上に表示するグラフの垂直方向の位置を0～ 2 ～34の範囲で調整します。値が大きいほどグラフは上に表示されます。 |
| DISP H_SIZE | 画面上に表示するグラフの水平方向の幅を0～ 12 ～60の範囲で調整します。値が大きいほどグラフの幅は広く表示されます。 |
| DISP V_SIZE | 画面上に表示するグラフの垂直方向の高さを0～ 12 ～34の範囲で調整します。値が大きいほどグラフは高く表示されます。 |
| 戻る | メインメニューに戻ります。 |

4.1.1.1. フォーカス調整の方法

フォーカス調整グラフは3本の棒グラフで構成されています。

- ① カメラを被写体に向け、3本のグラフを見ながらズームとフォーカスを合わせてズームを決めます。
- ② フォーカスが合ってくると黄色い棒グラフが上がります。
- ③ そして適正なフォーカスポイントを通り過ぎると、黄色いグラフは下がり、最も高かった位置が緑色でホールドされます。
- ④ 緑色でホールドされた位置を参考にしながらフォーカスリングを戻し、黄色の棒グラフが3つとも最も高くなる位置を見つけます。

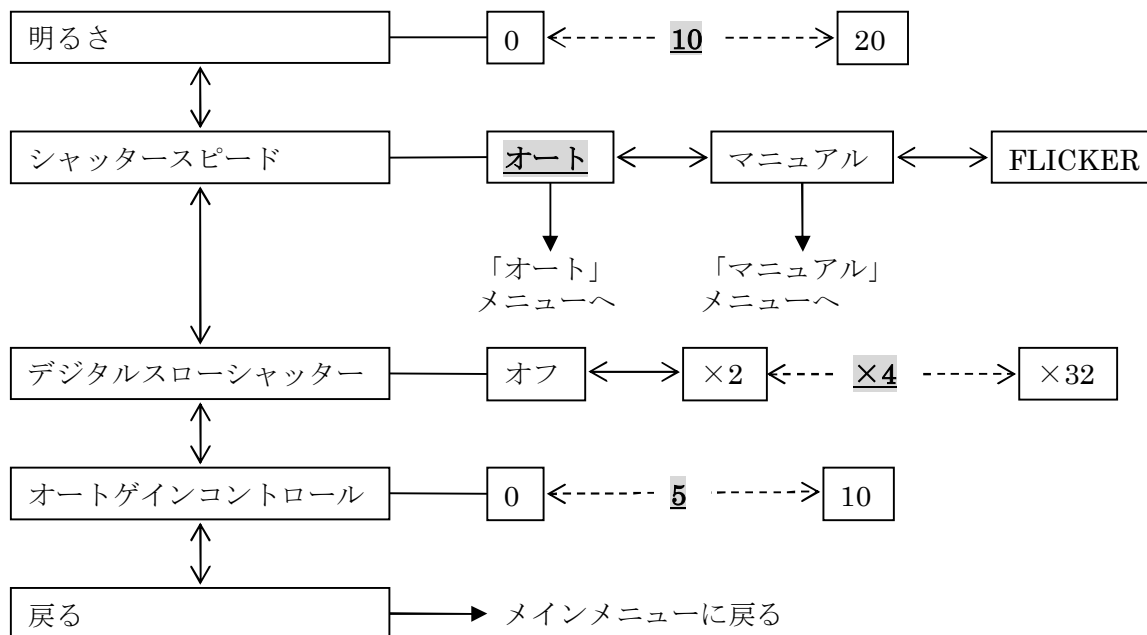


< 注 意 >

- フォーカス調整は、カメラの向きをしっかりと固定した状態で、可能な限り明るさや色の細かな濃淡のある動かない被写体をご利用ください。

4.1.2. 露光

「露光」メニューでは、被写体の明るさに適したカメラの設定が出来ます。



| 項目 | 説明 |
|--------------|---|
| 明るさ | 撮影する映像の明るさを露出補正によって 0 ～ 20 の範囲で調整します。初期値は 10 です。 |
| シャッタースピード | 電子シャッターのシャッタースピード調整の動作モードを切り換えます。 オート ：シャッタースピードを自動調整します。 参照→15 ページ マニュアル ：一定のシャッタースピードを選択出来ます。 参照→16 ページ FLICKER ：電源周波数 50Hz の地域で照明の点滅周期に伴う映像のちらつきを軽減するようにシャッタースピードを固定します。 |
| デジタルスローシャッター | 被写体が暗い場合に、自動的にシャッタースピードを撮影フレームレートよりもより遅く制御することで、暗い被写体でも、より明るく撮影する機能です。 オフ ：デジタルスローシャッター機能は動作しません。 ×2～×4～×32 ：選択した倍率のフレーム数に相当する時間を上限に、デジタルスローシャッター機能が動作します。 <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">＜ 注 意 ＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 映像信号のフレームレート（垂直周波数）は変化しませんが、映像が更新される間隔が長くなるので、実質的な映像のフレームレートは下がります。 </div> |

| | |
|--------------|--|
| オートゲインコントロール | <p>被写体が暗い場合に、撮像素子からの映像信号の振幅は小さくなります。そのような場合に、映像増幅器（ビデオアンプ）の利得（増幅度）を上げることで、明るい映像にする機能がオートゲインコントロールです。この設定では、その利得の上限値を0～5～10の範囲で調整出来ます。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; text-align: center;"> <p>< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「デイ&ナイト」を「オート」の設定でご使用になる場合、この値を低くすると、ナイトモードに切り替わらなくなります。“4”以上に設定してご使用ください。 ● オートゲインコントロールは、映像信号とともにノイズも増幅します。結果として、この設定値が大きい場合、暗い被写体の映像がざらついて見える場合があります。 </div> |
| 戻る | メインメニューに戻ります。 |

4.1.2.1. オート（露光→シャッタースピード）

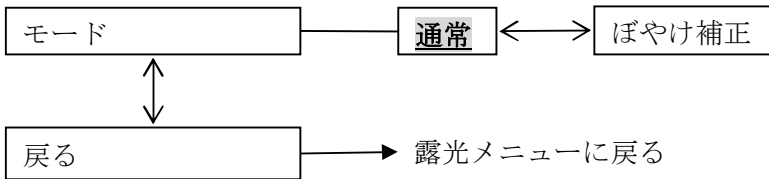
「オート」メニューでは、シャッタースピードを「オート」に設定した場合の電子シャッターの制御に関する設定が出来ます。このメニューは、メインメニューの「レンズ」を「DC」に設定した場合と「マニュアル」に設定した場合にはメニューが異なります。

「レンズ」を「DC」に設定した場合



| 項目 | 説明 | | | | | | | | | |
|---------|---|--|----|--|--------|---|--|---------|-------------|--------------|
| モード | <p>シャッタースピード制御の動作モードを選択出来ます。</p> <p>INDOOR：屋内使用に適した露出制御をします。</p> <p>OUTDOOR：屋外使用に適した露出制御をします。</p> <p>ぼやけ補正：動きのある被写体がぼやけないようにするために、適正露出が得られる範囲で、シャッタースピードを速くするように制御します。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; text-align: center;"> <p>< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 初期設定は下表のようになります。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">弊社出荷時設定</th> <th colspan="2" style="width: 80%;">機種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">INDOOR</td> <td>ICB-AH201, ICD-AH202V-v2, ICD-AH202VIR, ICVD-AH204V,</td> <td>ICB-AH201-1N, ICD-AH202V1N, ICD-AH202VIR1N, ICVD-AH204V1N</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">OUTDOOR</td> <td>ICI-AH203V,</td> <td>ICI-AH203V1N</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ● 「ぼやけ補正」では、比較的明るい環境でも AGC の利得を高めに制御しますので、ノイズの多い、ざらついた映像になります。 ● この機能にはフォーカスの合っていない状態のぼやけ（いわゆる「ピンボケ」）を改善する効果はありません。 </div> | 弊社出荷時設定 | 機種 | | INDOOR | ICB-AH201, ICD-AH202V-v2, ICD-AH202VIR, ICVD-AH204V, | ICB-AH201-1N, ICD-AH202V1N, ICD-AH202VIR1N, ICVD-AH204V1N | OUTDOOR | ICI-AH203V, | ICI-AH203V1N |
| 弊社出荷時設定 | 機種 | | | | | | | | | |
| INDOOR | ICB-AH201, ICD-AH202V-v2, ICD-AH202VIR, ICVD-AH204V, | ICB-AH201-1N, ICD-AH202V1N, ICD-AH202VIR1N, ICVD-AH204V1N | | | | | | | | |
| OUTDOOR | ICI-AH203V, | ICI-AH203V1N | | | | | | | | |
| 戻る | 「露光」メニューに戻ります。 | | | | | | | | | |

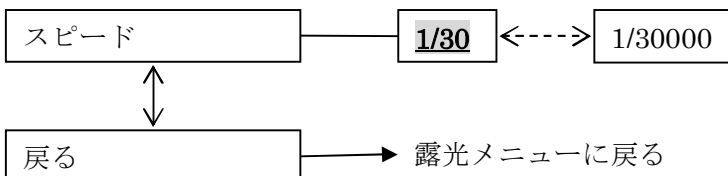
「レンズ」を「マニュアル」に設定した場合



| 項目 | 説明 | | | | |
|---------|--|---------|----|----|-----------------------------------|
| モード | <p>シャッタースピード制御の動作モードを選択出来ます。</p> <p>通常：一般的な使用に適したシャッタースピード制御をします。</p> <p>ぼやけ補正：動きのある被写体がぼやけないようにするために、適正露出が得られる範囲で、シャッタースピードを速くするように制御します。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 弊社出荷時設定は下表のようになります。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">弊社出荷時設定</th> <th>機種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">通常</td> <td>ICS-AH221-DC-v2, ICS-AH221-VPN-v2</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ● 「ぼやけ補正」では、比較的明るい環境でも AGC の利得を高めに制御しますので、ノイズの多い、ざらついた映像になります。 ● この機能にはフォーカスの合っていない状態のぼやけ（いわゆる「ピンボケ」）を改善する効果はありません。 </div> | 弊社出荷時設定 | 機種 | 通常 | ICS-AH221-DC-v2, ICS-AH221-VPN-v2 |
| 弊社出荷時設定 | 機種 | | | | |
| 通常 | ICS-AH221-DC-v2, ICS-AH221-VPN-v2 | | | | |
| 戻る | 「露光」メニューに戻ります。 | | | | |

4.1.2.2. マニュアル（露光→シャッタースピード）

「マニュアル」メニューでは、シャッタースピードを「マニュアル」に設定した場合の電子シャッターの制御に関する設定が出来ます。



| 項目 | 説明 |
|------|---|
| スピード | <p>電子シャッターのシャッタースピードを次の選択肢から選択出来ます。</p> <p>1/30, 1/60, 1/120, 1/240, 1/480, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/8000, 1/15000, 1/30000 [秒]</p> |
| 戻る | 「露光」メニューに戻ります。 |

< 情 報 >

- 表内のシャッタースピードの選択肢は「システム」メニュー内で「FREQ」を「60HZ」に設定した場合です。「50HZ」に設定した場合は次の選択肢になります。

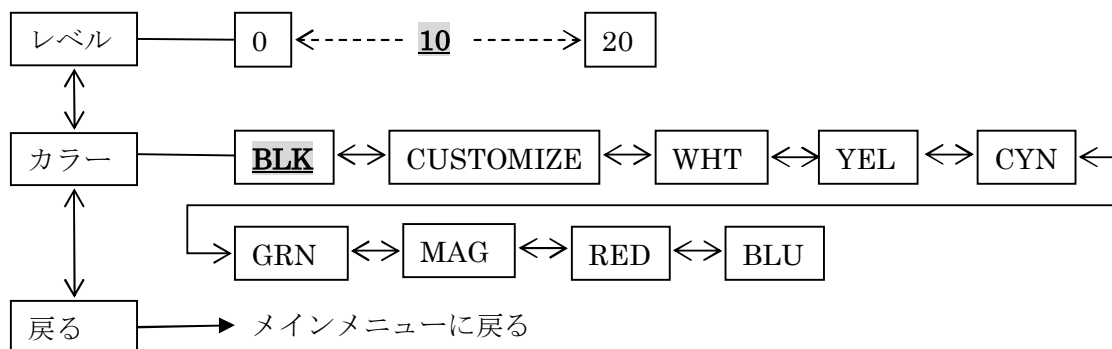
1/25, 1/50, 1/100, 1/200, 1/400, 1/800, 1/1600, 1/3200, 1/6400, 1/12800, 1/25600 [秒]

4.1.3. 逆光補正

逆光補正機能は、明暗差の大きな被写体を撮影した場合に、意図した露出や映像効果を得ることが出来るようにします。

4.1.3.1. ハイライト補正（逆光補正）

「ハイライト補正」は、被写体の極端に明るい部分を、映像では黒く（または別の色）塗りつぶすことによって、暗い部分の映像を見易くすることが出来ます。



| 項目 | 説明 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|---|-----|-----|-----|------|----|---|------------|---|-----|---|-----|------|-----------|-----|-----|-----|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|
| レベル | 塗りつぶす明るさの閾値を 0 ～ 20 の範囲で指定出来ます。指定された閾値より明るい部分が、塗りつぶしの対象になります。初期値は 10 です。 <div style="text-align: center;"> <p>< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● この場合の「明るさ」とは、露出制御された後の映像信号におけるものであり、被写体の照度や照明の明るさを意味するものではありません。相対的な目安とお考えください。 </div> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| カラー | 塗りつぶしの色を指定出来ます。色名はアルファベットによる略語で示され、実際の色との関係は次の表のようになります。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>略語</th> <th>色</th> <th>略語</th> <th>色</th> <th>略語</th> <th>色</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BLK</td> <td>黒</td> <td>YEL</td> <td>黄</td> <td>MAG</td> <td>マゼンタ</td> </tr> <tr> <td>CUSTOMIZE</td> <td>独自色</td> <td>CYN</td> <td>シアン</td> <td>RED</td> <td>赤</td> </tr> <tr> <td>WHT</td> <td>白</td> <td>GRN</td> <td>緑</td> <td>BLU</td> <td>青</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center;"> <p>< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「CUSTMIZE」は製造元が独自に設定した中間色で、使用者が変更出来るものではありません。 </div> | 略語 | 色 | 略語 | 色 | 略語 | 色 | BLK | 黒 | YEL | 黄 | MAG | マゼンタ | CUSTOMIZE | 独自色 | CYN | シアン | RED | 赤 | WHT | 白 | GRN | 緑 | BLU | 青 |
| 略語 | 色 | 略語 | 色 | 略語 | 色 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| BLK | 黒 | YEL | 黄 | MAG | マゼンタ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| CUSTOMIZE | 独自色 | CYN | シアン | RED | 赤 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| WHT | 白 | GRN | 緑 | BLU | 青 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 戻る | メインメニューに戻ります。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

4.1.3.2. バックライト補正（逆光補正）

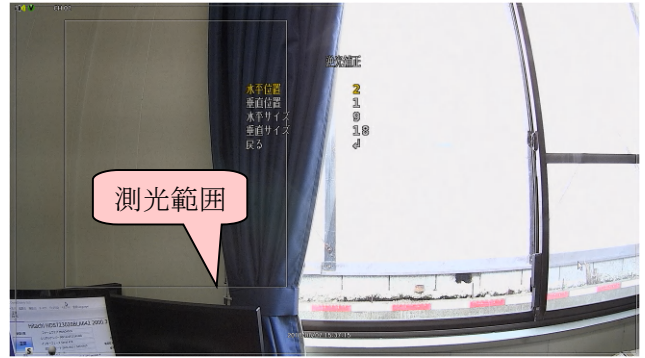
「バックライト補正」では、撮影範囲の比較的広い面積に極端に明るい部分や極端に暗い部分があることで、撮影したい部分の明るさが適正な明るさにならない場合に、撮影したい部分を測光範囲に指定することによって、適切な露出制御を行わせることが出来ます。

次の図は少し極端な例ですが、撮影範囲の左半分が室内、右半分が窓の外の屋外を撮影しています。本来は室内を撮影したいと考えた場合でも、通常は室内がかなり暗めに映ります。

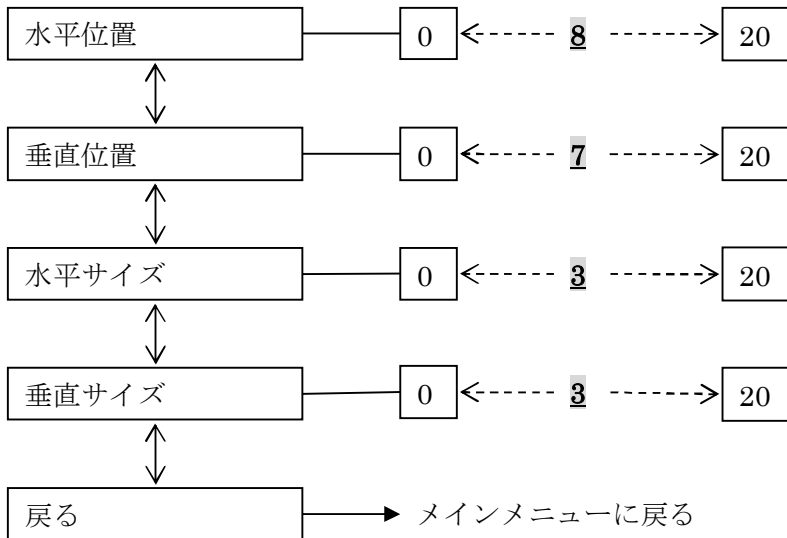
そのような場合に、撮影範囲の左側を測光範囲に指定すると、カメラは左側の明るさを基準に露出制御をします。



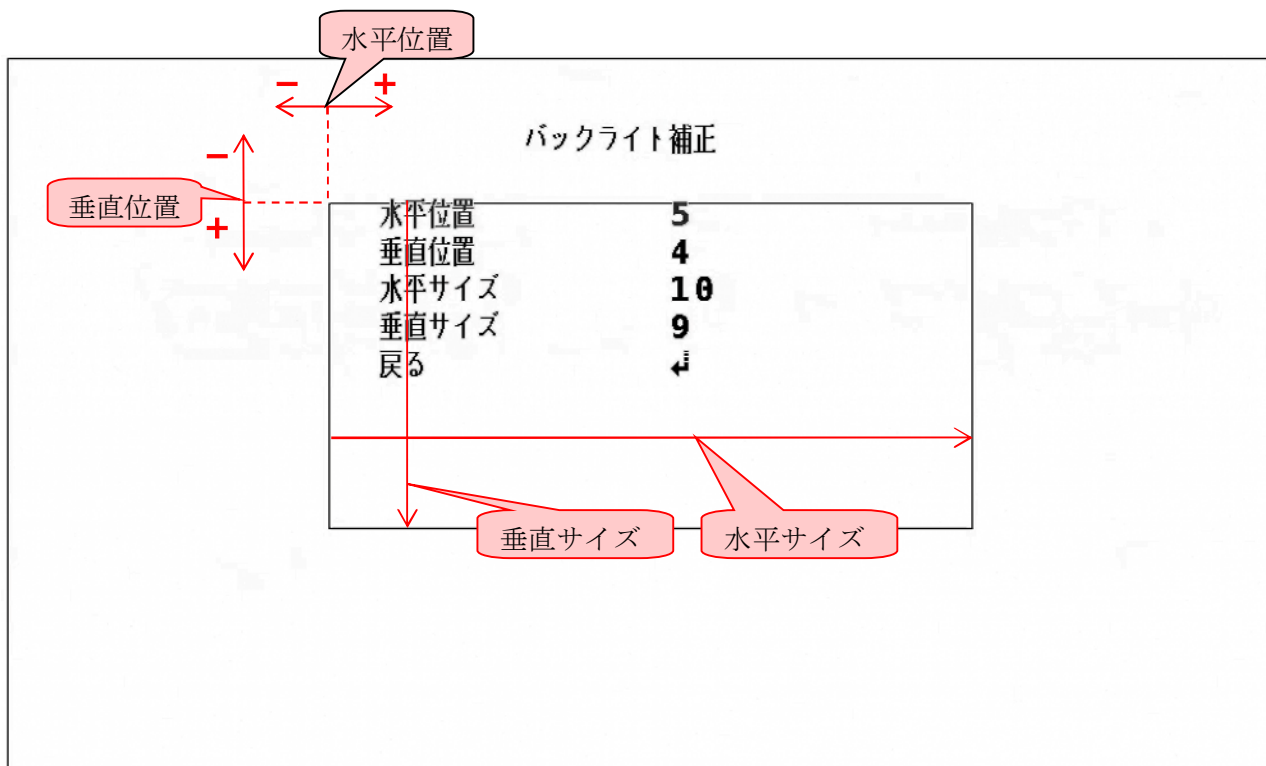
通常は、右側の明るい屋外の影響で、左側の室内は暗く撮影されてしまいます。



左の屋内側を測光範囲に指定すると、室内の明るさに合わせて露出を制御します。



| 項目 | 説明 |
|-------|--|
| 水平位置 | 測光範囲の左端の位置を 0 ～ 20 の範囲で指定します。値が小さくなるほど左に移動し、値が大きくなるほど右に移動します。初期値は 8 です。 |
| 垂直位置 | 測光範囲の上端の位置を 0 ～ 20 の範囲で指定します。値が小さくなるほど上に移動し、値が大きくなるほど下に移動します。初期値は 7 です。 |
| 水平サイズ | 測光範囲の横の幅を 0 ～ 20 の範囲で指定します。値を小さくするほど測光範囲の右端が左に移動し、値が大きくなるほど測光範囲の右端が右に移動します。初期値は 3 です。 |
| 垂直サイズ | 測光範囲の縦の幅を 0 ～ 20 の範囲で指定します。値を小さくするほど測光範囲の下端が上に移動し、値が大きくなるほど測光範囲の下端が下に移動します。初期値は 2 です。 |
| 戻る | 「逆光補正」のメニューに戻ります。 |



＜ 注 意 ＞

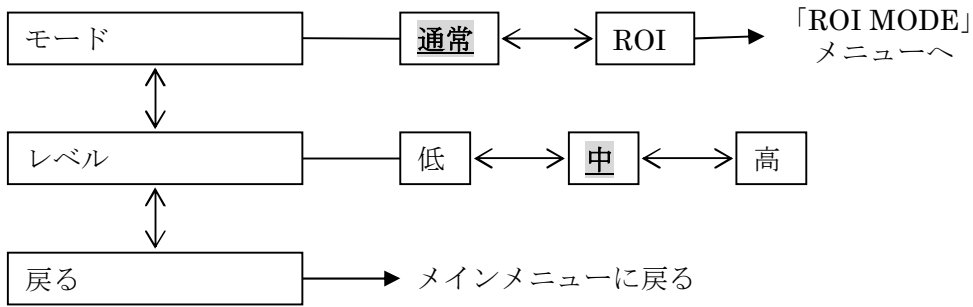
- レンズに強い光が入射すると、たとえバックライト補正をしたとしても、レンズやフロントガラスの汚れや傷、その他のレンズ内の反射等によって映像が見辛くなる場合があります。可能な限りカメラの設置場所や画角調整によって理想的な撮影条件を確保するようにし、バックライト補正は補助的な手段とお考えください。

4.1.3.3. WDR (逆光補正)

＜ 注 意 ＞

WDR 機能は、異なるシャッタースピードで 2 回撮影して、その映像を合成することによって明暗差の強い被写体を撮影する機能です。従って、その原理上、次のような現象を伴います。

- 動きのある映像に残像が見られる
1 枚の映像をつくるための 2 回の露光には、僅かな時間差があります。従って動きのある映像の場合は部分的な映像のずれによる残像が発生します。
- 映像に横縞等が見える場合がある
1 枚の映像をつくるための 2 回の露光には、それぞれ異なるシャッタースピードが動的に適用されます。照明の種類によっては照明の点滅速度とカメラのシャッタースピードの干渉によって映像に横縞が見える等の現象が現れる場合があります。
- 映像のノイズが増える場合がある
映像のノイズ（ざらつき）が特に暗い映像では気になる場合があります。



| 項目 | 説明 |
|-----|---|
| モード | <p>映像の合成方法を選択します。初期値は 通常 です。</p> <p>通常：撮影された被写体の明るさの分布に合わせて、カメラが自動的に異なるシャッタースピードの映像を合成します。</p> <p>ROI：逆光部分が長方形の場合、長方形の範囲を指定して、その範囲にだけ高速シャッターを適用出来ます。BOXの座標の設定については、「ROI」メニューを参照してください。 参照→21ページ</p> |
| レベル | WDRの効果の強さを「低」「中」「高」から選択出来ます。 |
| 戻る | メインメニューに戻ります。 |



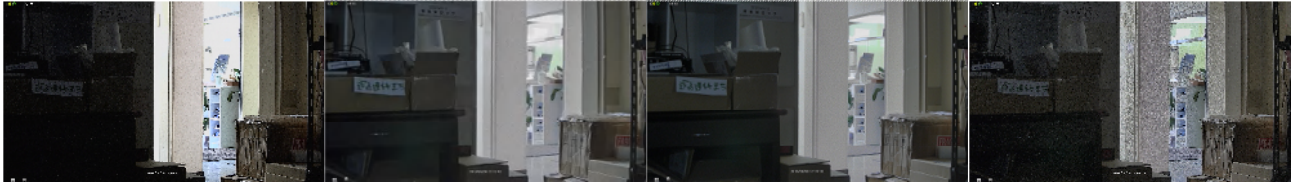
WDR オフ

WDR オン

WDR オン

通常

ROI



WDR オフ

WDR オン

WDR オン

WDR オン

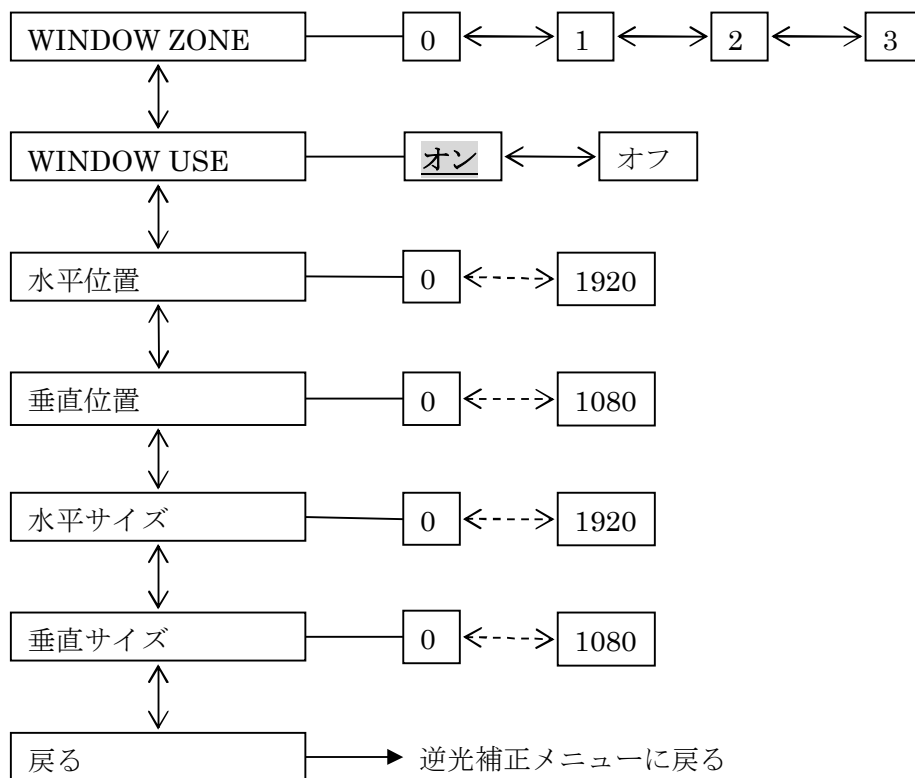
レベル 低

レベル 中

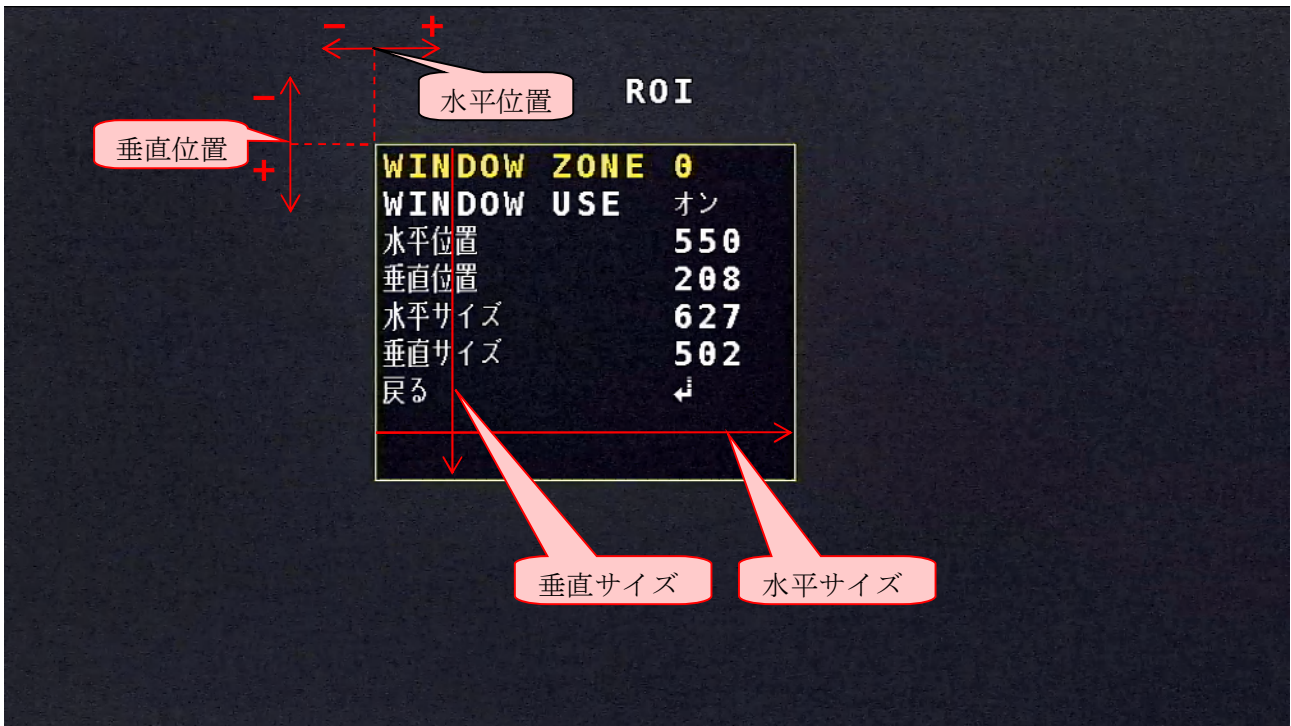
レベル 高

4.1.3.3.1. ROI (逆光補正→WDR)

逆光部分を示す長方形の範囲を指定します。



| 項目 | 説明 |
|-------------|--|
| WINDOW ZONE | 逆光範囲を指定するゾーンは最大 4 箇所まで指定することが出来ます。 「WINDOW USE」以降の項目を設定しようとするゾーンの番号を 0～3 の番号で選択します。 |
| WINDOW USE | 選択したゾーン番号を使用するか使用しないかを選択します。 オフ：「WINDOW ZONE」で選択したゾーン番号を使用しません。また、水平と垂直の位置とサイズも変更できなくなります。 オン：「WINDOW ZONE」で選択したゾーン番号を使用します。水平と垂直の位置とサイズは変更出来るようになり、画面には設定値を適用した映像が表示されます。 |
| 水平位置 | 逆光範囲の左端の位置を 0～1920 の範囲で指定します。値が小さくなるほど左に移動し、値が大きくなるほど右に移動します。 |
| 垂直位置 | 逆光範囲の上端の位置を 0～1080 の範囲で指定します。値が小さくなるほど上に移動し、値が大きくなるほど下に移動します。 |
| 水平サイズ | 逆光範囲の横の幅を 0～1920 の範囲で指定します。値を小さくするほど範囲の右端が左に移動し、値が大きくなるほど範囲の右端が右に移動します。 |
| 垂直サイズ | 逆光範囲の縦の幅を 0～1080 の範囲で指定します。値を小さくするほど範囲の下端が上に移動し、値が大きくなるほど範囲の下端が下に移動します。 |
| 戻る | 「WDR」(逆光補正) のメニューに戻ります。 |



各 WINDOW ZONE における水平と垂直の位置とサイズの初期値は次の表に示します。

| | 0 | 1 | 2 | 3 |
|-------|-----|-----|-----|-----|
| 水平位置 | 320 | 520 | 720 | 920 |
| 垂直位置 | 180 | 330 | 480 | 630 |
| 水平サイズ | 512 | | | |
| 垂直サイズ | 432 | | | |

4.1.4. デイ&ナイト

「デイ&ナイト」では、カラー撮影とモノクロ撮影を切り換えるための設定が出来ます。

< 注意 >

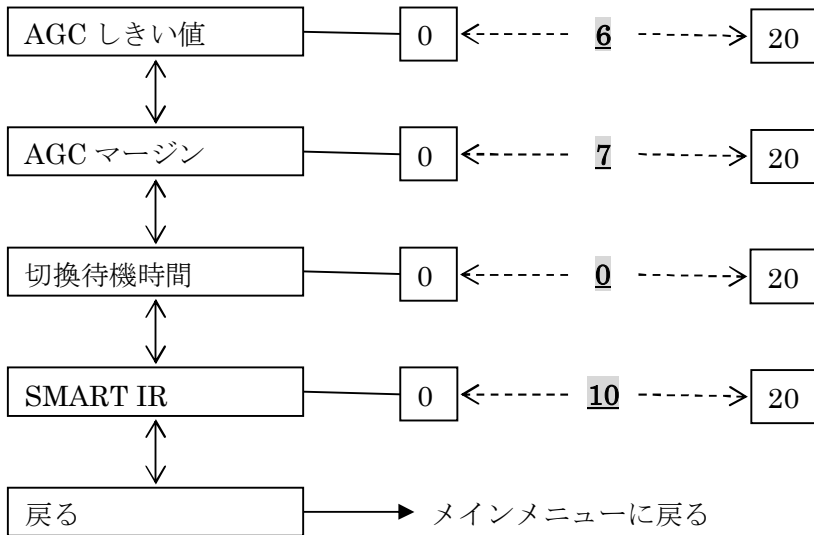
- 本機は True Day Night 機能を搭載しておりますので、鮮やかなカラー撮影を実現するために、デイモード動作中は赤外線に対する感度が低く抑えられています。デイモード時の IR 撮影には適しておりません。

4.1.4.1. オート (デイ&ナイト)

デイ&ナイトの「オート」は、カメラの撮像素子に入る光量を基にカラーとモノクロを自動的に切り換えます。CdS センサーを持たない機種 (ICB-AH201, ICB-AH201-1N, ICD-AH202V-v2, ICD-AH202V1N) ではこのモードが初期設定です。

< 注意 >

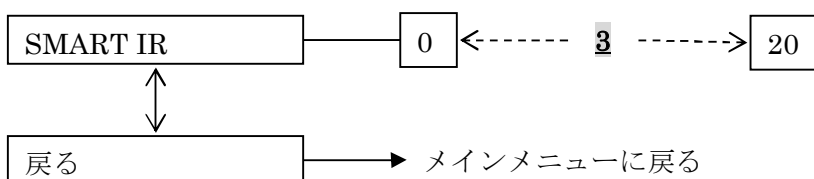
- デイ&ナイトを「オート」で使用する場合、必ず「露光」メニューの「オートゲインコントロール」を“4”以上の値に設定してください。低い値に設定すると、自動切り換えが不安定になったり効かなくなったりします。出荷時はオートゲインコントロールを“5”に設定しています。



| 項目 | 説明 |
|----------|---|
| AGC しきい値 | デイモードとナイトモードを切り換えるしきい値を 0 ～ 20 の範囲で調整出来ます。しきい値の明るさは値が大きくなるほど暗くなります。初期値は 6 です。 |
| AGC マージン | デイモードからナイトモードに切り替わる場合とナイトモードからデイモードに切り替わる場合のしきい値に差を持たせることができ、0 ～ 20 の範囲で調整出来ます。初期値は 7 です。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>< 情報 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 暗い環境でデイモードとナイトモードを繰り返すような現象が発生する場合には、この値を大きくすることで現象を緩和出来る場合があります。 </div> |
| 切換待機時間 | カメラが明るさの変化を感知してから実際にデイ&ナイト自動切り替えが動作するまでのおおよその時間を 0～20 の範囲で調整できます。初期値は 0 です。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>< 情報 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 実際の時間は、同じ設定の場合でも、撮影条件によって異なりますので、秒数での規定はありません。 </div> |
| SMART IR | ナイトモード（モノクロ）時に IR ライトを使用することによって、映像に飽和（白飛び）が発生する場合に露出補正をして飽和を軽減します。補正量は 0 ～ 20 の範囲で調整出来ます。0 が無補正で、値が大きくなるほど映像は暗くなります。初期値は 10 です。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>< 注意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本機の SMART IR は撮影する映像の露出を補正する機能です。従ってナイトモード（モノクロ）撮影中は可視光線で撮影した映像にも適用されます。 </div> |
| 戻る | メインメニューに戻ります。 |

4.1.4.2. モノクロ（デイ&ナイト）

被写体や周囲の明るさに関係なくモノクロで撮影するモードです。



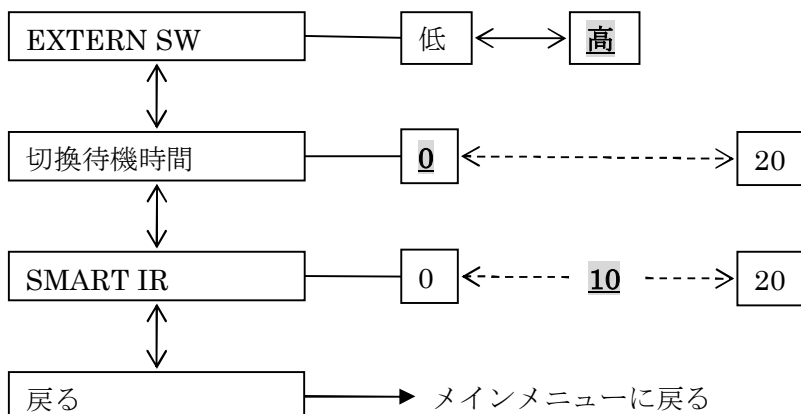
| 項目 | 説明 |
|----------|--|
| SMART IR | <p>IR（赤外線）撮影時に IR ライトを使用することによって、映像に飽和（白飛び）が発生する場合に露出補正をして飽和を軽減します。 補正量は 0 ～ 20 の範囲で調整出来ます。0 が無補正で、値が大きくなるほど映像は暗くなります。初期値は 3 です。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; text-align: center;"> <p>< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本機の SMART IR は撮影する映像の露出を補正する機能です。従ってナイトモード（モノクロ）撮影中は可視光線で撮影した映像にも適用されます。 </div> |
| 戻る | メインメニューに戻ります。 |

4.1.4.3. 外部（デイ&ナイト）

撮像素子とは別の光センサー（CdS センサー）で感知した周囲の明るさを基にカラーとモノクロを切り換えます。CdS センサーを持っている機種（ICD-AH202VIR, ICD-AH202VIR1N, ICI-AH203V, ICI-AH203V1N, ICVD-AH204V, ICVD-AH204V1N）の初期設定です。

< 注 意 >

- CdS センサーを持たない機種（ICB AH201V, ICB AH201V1N, ICD-AH202V-v2, ICD-AH202V1N）では、このモードではデイ&ナイト自動切り替えは効きません。

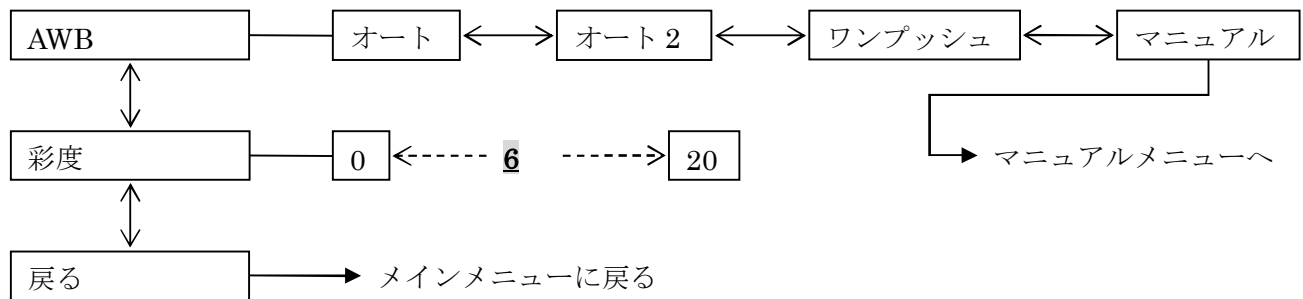


| 項目 | 説明 |
|--|--|
| EXTERN SW <変更禁止> | <p>周囲の明るさの変化に対するデイ&ナイト切り換えの極性を切り換えます。 高：周囲が明るい場合にカラー、暗い場合にモノクロに切り換わる動作をします。 低：周囲が明るい場合にモノクロ、暗い場合にカラーに切り換わる動作をします。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; text-align: center;"> <p>< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 必ず「高」でご使用ください。 </div> |
| 切换待机時間 | <p>カメラが明るさの変化を感知してから実際にデイ&ナイト自動切り替えが動作するまでのおおよその時間を 0～20 の範囲で調整できます。初期値は 0 です。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #add8e6; padding: 5px; text-align: center;"> <p>< 情 報 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 実際の時間は、同じ設定の場合でも、撮影条件によって異なりますので、秒数での規定はありません。 </div> |

| | |
|----------|--|
| SMART IR | <p>ナイトモード（モノクロ）時に IR ライトを使用することによって、映像に飽和（白飛び）が発生する場合に露出補正をして飽和を軽減します。 補正量は 0 ～ 20 の範囲で調整出来ます。0 が無補正で、値が大きくなるほど映像は暗くなります。初期値は 10 です。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; text-align: center;"> <p>< 注 意 ></p> <p>● SMART IR は撮影する映像の露出を補正する機能です。ナイトモード（モノクロ）撮影中は可視光線で撮影した映像にも適用されます。</p> </div> |
| 戻る | メインメニューに戻ります。 |

4.1.5. ホワイトバランス

ホワイトバランス（自動白バランス補正）では、照明の違いによる被写体の色の偏りを補正するための設定が出来ます。白い被写体を白く見せることがこの機能の目的なので、このような名称で呼ばれています。

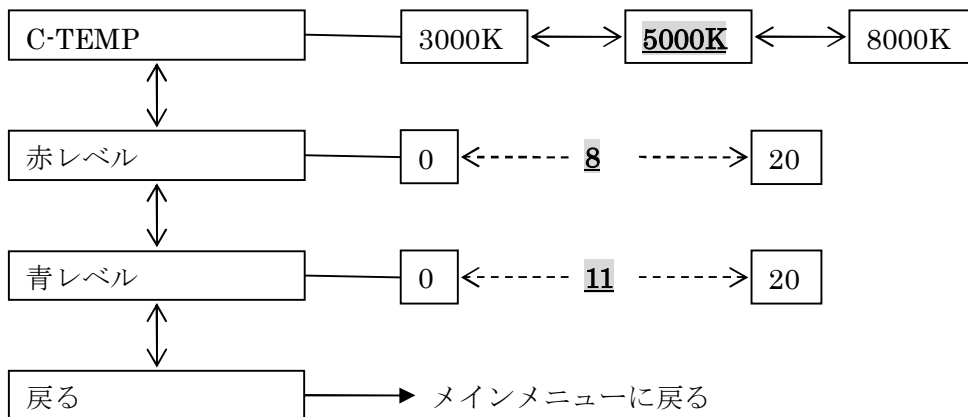


| 項目 | 説明 |
|-----|---|
| AWB | <p>AWB（自動ホワイトバランス補正）では、照明の違いによる被写体の色の偏りを補正するための設定が出来ます。白い被写体を白く見せることがこの機能の目的なので、このような名称で呼ばれています。</p> <p>この機能には「オート」「オート 2」「ワンプッシュ」「マニュアル」の 4 つの動作モードがあります。</p> <p>オート：撮影された被写体の状態を自動的に認識して自動調整します。通常はこのモードでご使用ください。</p> <p>オート 2：照明の種類等によっては「オート」で自然な色調が得られない場合があります。そのような場合に「オート 2」を試してください。</p> <p>ワンプッシュ：白い被写体を画面いっぱい大きく撮影した状態でカーソルを「ワンプッシュ」の位置に合わせ OSD ノブを押すと、その被写体が白く映るように自動調整します。このモードは、映像に大きく鮮やかな色の被写体が映り込むことによって自動調整が正しく機能しない場合に適しています。</p> <p>マニュアル：緑に対する青と赤の強さを手動設定することで色のバランスを調整します。正しく調整するためには、高い技量が必要ですので、特別な事情がある場合を除き、使用はお勧めしていません。 参照→26 ページ</p> |

| | |
|---|--|
| < 注 意 > | |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 「ワンプッシュ」と「マニュアル」は、屋外撮影のような時間帯や天候等によって撮影場所の色温度が変化する環境での使用には適しません。 ● 「ワンプッシュ」の自動調整を UTC による遠隔操作で実行する場合は、ワンプッシュが表示されている状態から メニュー ボタンで実行してください。調整が開始されると「PUSHING」と表示され、調整が完了すると「OK」に変わります。 | |
| 彩度 | 色の濃さを 0 ～ 20 の範囲で調整出来ます。(初期値： 6) |
| 戻る | メインメニューに戻ります。 |

4.1.5.1. マニュアル (ホワイトバランス→AWB)

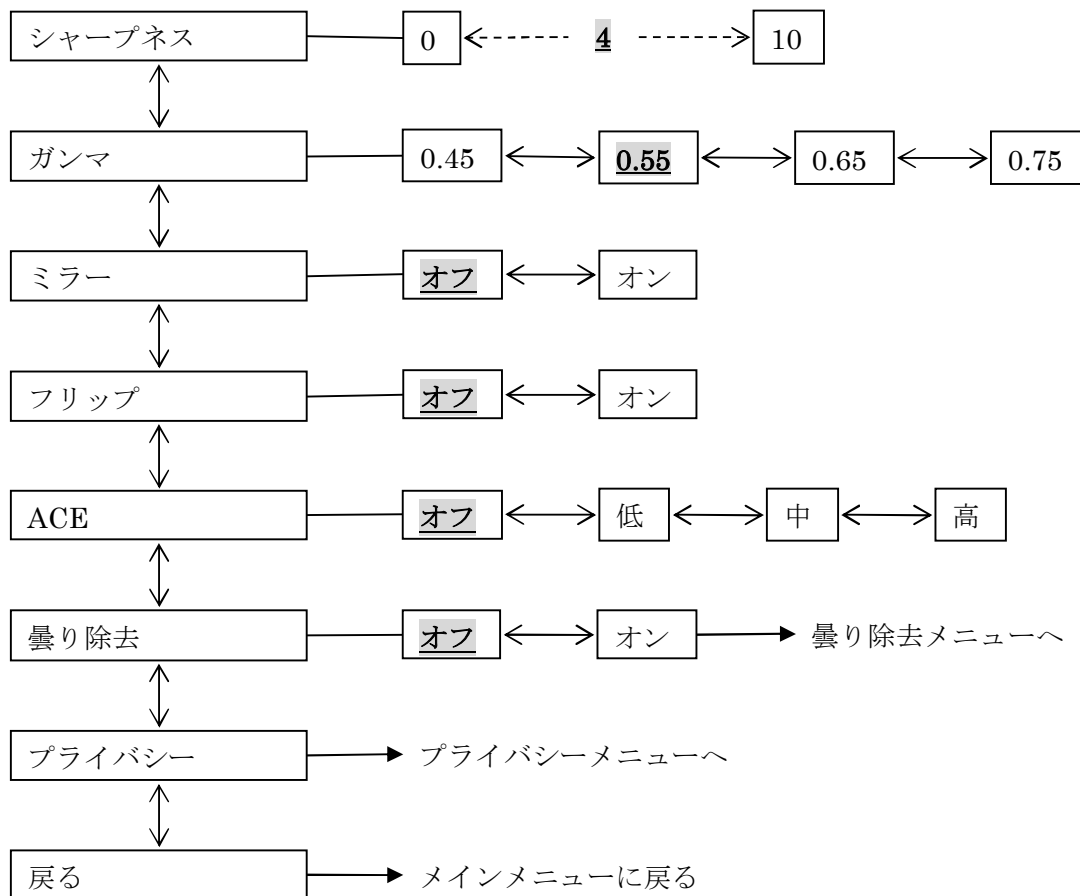
「マニュアル」(手動調整)では、白く映るようにする基準の色温度を「C-TEMP」で選択し、「赤レベル」と「青レベル」で微調整することによって、ホワイトバランスを手動で目的の色温度に合わせます。



| 項目 | 説明 |
|--------|---|
| C-TEMP | 色温度調整の中心となる色温度を大まかに切り換えます。 3000K：照明が白熱電球や電球色蛍光灯（または LED）のような暖色系照明の場合に選択します。 5000K ：照明が昼白色蛍光灯（または LED）のような白色系照明の場合に選択します。 8000K：照明が晴天時の日陰のような寒色系照明の場合に選択します。 |
| 赤レベル | 緑に対する赤の強さを 0 ～ 20 の範囲で微調整出来ます。初期値は 8 です。 |
| 青レベル | 緑に対する青の強さを 0 ～ 20 の範囲で微調整出来ます。初期値は 11 です。 |
| 戻る | メインメニューに戻ります。 |

4.1.6. イメージ

「イメージ」メニューでは、撮影された映像の画質等を微調整することができます。

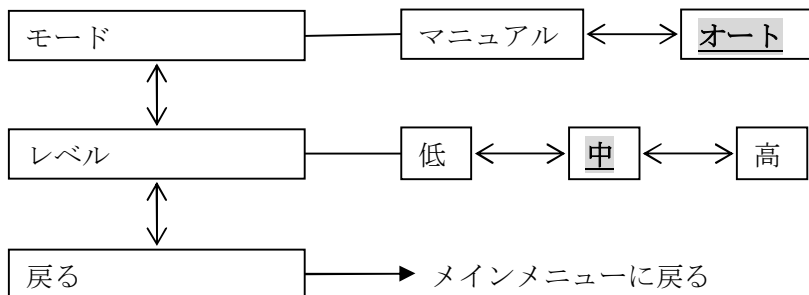


| 項目 | 説明 |
|--------|--|
| シャープネス | <p>輪郭を強調して映像をくっきり感じさせます。値は 0 ～ 10 の範囲で調整でき、値が大きいくほど強調が強くなります。初期値は 4 です。</p> <p style="text-align: center;">< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● シャープネスは解像度を上げる機能ではありません。 |
| ガンマ | <p>ガンマ補正値を「0.45」「0.55」「0.65」「0.75」から選択出来ます。お使いのモニターに合わせて見易い設定でご使用ください。</p> <p style="text-align: center;">< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● メインメニューの「デイ&ナイト」で「WDR」が選択されている場合には、この設定は効果がなくなります。 |
| ミラー | <p>映像を左右反転する機能です。 オフ：映像を左右反転しません。 オン：映像を左右反転します。(鏡に反射したような映像になります)</p> |
| フリップ | <p>映像を上下反転する機能です。 オフ：映像を上下反転しません。 オン：映像を上下反転します。</p> |

| | |
|--------|--|
| ACE | <p>ACE(Active Contrast Enhancement)機能は、映像の明るさの範囲を圧縮することで、映像のより明るい部分やより暗い部分を見易くする機能です。</p> <p>オフ：ACE 機能を使用しません。</p> <p>低：ACE の弱めの効果で使します。</p> <p>中：ACE の中程度の効果で使します。</p> <p>高：ACE の強めの効果で使します。</p> <p>見易い設定でご使用ください。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; text-align: center;"> <p>< 注 意 ></p> <p>● 曇り除去機能を使用している場合には、ACE 機能は動作しません。</p> </div> |
| 曇り除去 | <p>ドームバブル等の汚れや傷によって霞んだ映像を補正して見易くする機能です。</p> <p>オフ：曇り除去機能を使用しません。</p> <p>オン：曇り除去機能を使用します。この機能には詳細を設定するメニューがあります。 参照→28 ページ</p> |
| プライバシー | <p>映像の一部の範囲を特定の色でマスキングすることによってプライバシーを保護するための「プライバシー」メニューに入ります。</p> <p>この機能には詳細を設定するメニューがあります。 参照→29 ページ</p> |
| 戻る | メインメニューに戻ります。 |

4.1.6.1. 曇り除去 (イメージ)

「曇り除去」は、霧などの影響で霞んで見える映像を補正して見易くします。

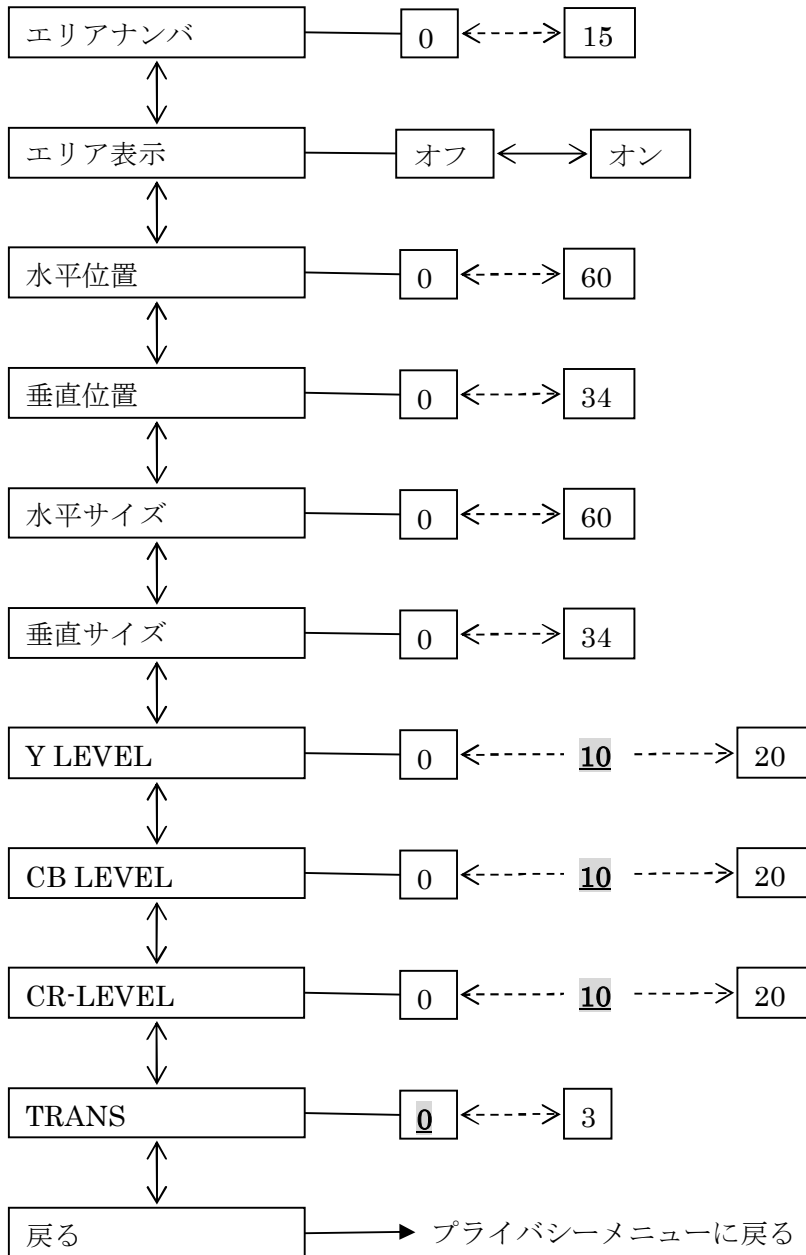


| 項目 | 説明 |
|-----|---|
| モード | <p>曇り除去機能の動作モードを切り換えます。</p> <p>マニュアル：マニュアルモードで動作します。</p> <p>オート：オートモードで動作します。</p> |
| レベル | <p>モードをマニュアルに設定した場合の曇り除去の強さを選択します。モードがオートになっている場合はレベルを変えても曇り除去の効果は変化しません。</p> <p>低：効果を弱めにします。</p> <p>中：効果を中程度にします。</p> <p>高：効果を強めにします。</p> |
| 戻る | |

4.1.6.2. プライバシー（イメージ）

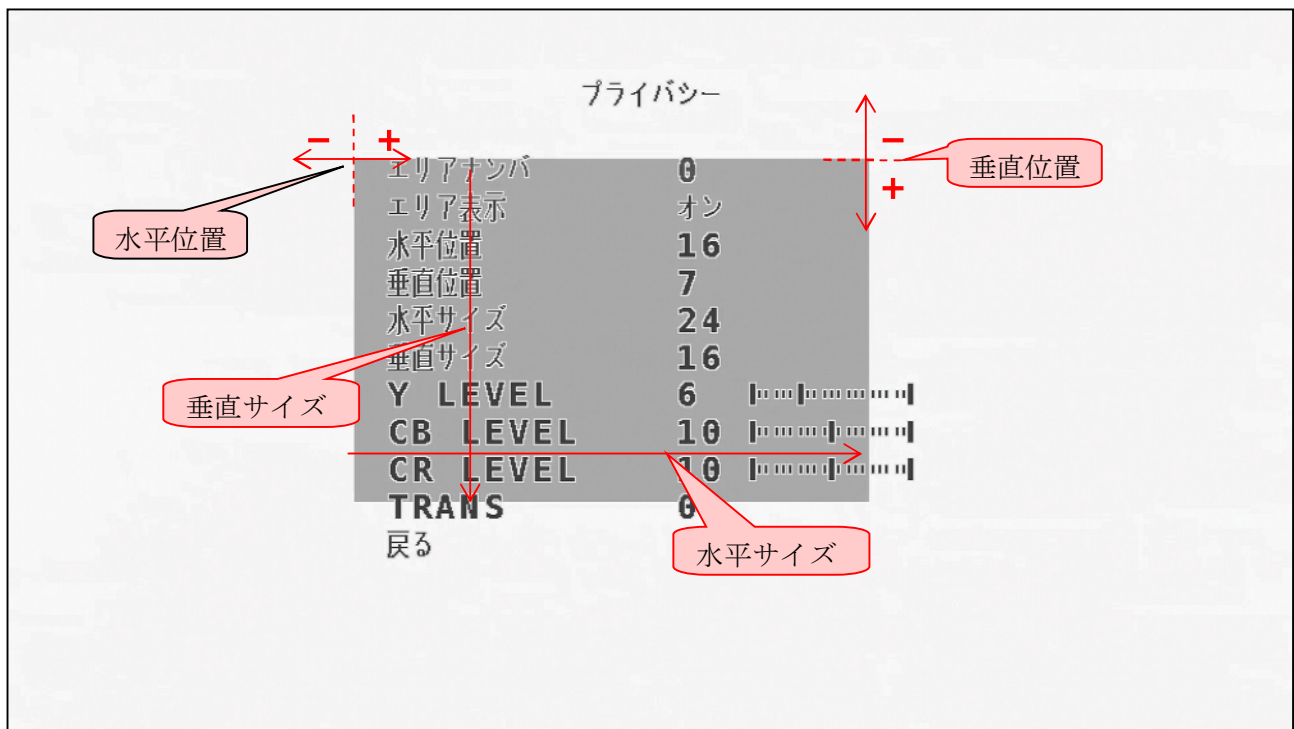
映像の一部の範囲を特定の色でマスキングすることによってプライバシーを保護します。

保護することが出来るエリアは、長方形で指定することが出来る範囲を 16 箇所まで指定可能です。



| 項目 | 説明 |
|--------|--|
| エリアナンバ | プライバシー保護を指定する長方形のエリアは最大 16 箇所まで指定することが出来ます。 「エリア表示」「水平位置」「垂直位置」「水平サイズ」「垂直サイズ」の項目を設定しようとするエリアの番号を 0～15 の番号で選択します。 |
| エリア表示 | 選択したエリア番号を使用するか使用しないかを選択します。 オフ：「エリアナンバ」で選択したエリア番号を使用しません。また、水平と垂直の位置とサイズも変更できなくなります。 オン ：「エリアナンバ」で選択したエリア番号を使用します。水平と垂直の位置とサイズは変更出来るようになり、画面には設定値を適用した映像が表示されます。 |

| | |
|----------|---|
| 水平位置 | 保護エリアの左端の位置を 0～60 の範囲で指定します。値が小さくなるほど左に移動し、値が大きくなるほど右に移動します。 |
| 垂直位置 | 保護エリアの上端の位置を 0～34 の範囲で指定します。値が小さくなるほど上に移動し、値が大きくなるほど下に移動します。 |
| 水平サイズ | 保護エリアの横の幅を 0～80 の範囲で指定します。値を小さくするほど保護範囲の右端が左に移動し、値が大きくなるほど保護範囲の右端が右に移動します。 |
| 垂直サイズ | 保護エリアの縦の幅を 0～46 の範囲で指定します。値を小さくするほど保護範囲の下端が上に移動し、値が大きくなるほど保護範囲の下端が下に移動します。 |
| Y LEVEL | 保護エリアを塗り潰す明るさを 0～20 の範囲で指定します。数値が大きくなるほど明るくなります。この設定は、16 箇所全てのエリアに対して共通に適用されます。 |
| CB LEVEL | 保護エリアを塗り潰す色を構成する B-Y 軸の色差を 0～20 の範囲で指定します。ニュートラルな数値は 10 で、0～20 の範囲は数値が大きくなるほど 青紫 系になり、値が小さくなるほど 黄緑 系に変化します。この設定は、16 箇所全てのエリアに対して共通に適用されます。 |
| CR LEVEL | 保護エリアを塗り潰す色を構成する R-Y 軸の色差を 0～20 の範囲で指定します。ニュートラルな数値は 10 で、1～20 の範囲は数値が大きくなるほど 赤色 系になり、値が小さくなるほど 青緑 系に変化します。この設定は、16 箇所全てのエリアに対して共通に適用されます。 |
| TRANS | 保護エリアの透過度（透明度）を 0～3 の範囲で指定します。値が大きいほど保護エリアが透けて見えます。 |
| 戻る | 「プライバシー」（イメージ）のメニューに戻ります。 |

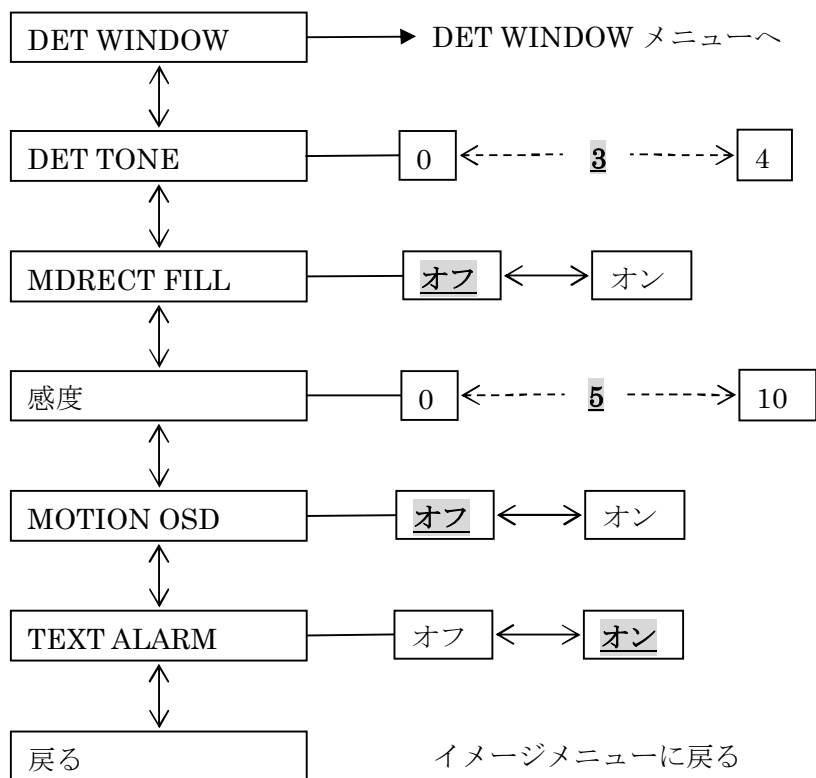


各エリアナンバの水平垂直の位置とサイズの初期値は次の表に示します。

| エリアナンバ | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
|--------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 水平位置 | 12 | 16 | 20 | 24 | 28 | 32 | 12 | 16 | 20 | 24 | 28 | 32 | 12 | 16 | 20 | 24 |
| 垂直位置 | 2 | | | | | | 6 | | | | | | 10 | | | |
| 水平サイズ | 3 | | | | | | | | 3 | | | | | | | |
| 垂直サイズ | 3 | | | | | | | | 3 | | | | | | | |

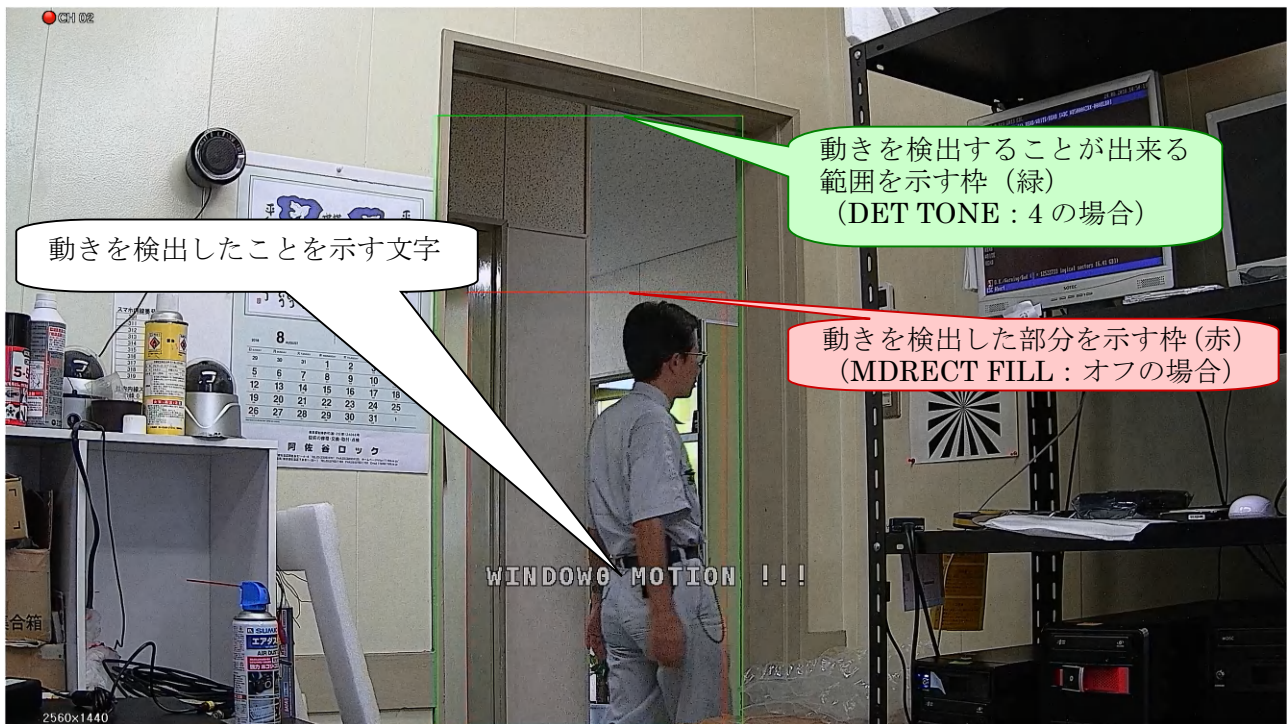
4.1.7. モーション

被写体の動きを検出して文字と枠線を表示して知らせます。

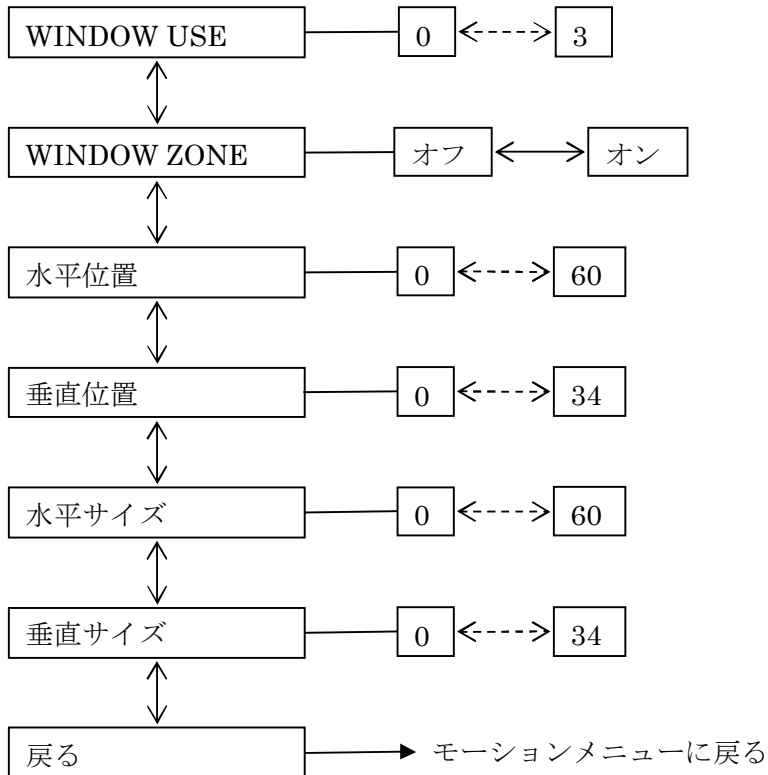


| 項目 | 説明 | | | | | | | | | | | | |
|-------------|--|---|---|---|--|--|--|---|---|--|--|--|--|
| DET WINDOW | 動きを検出することが出来る範囲を指定するためのメニューに入ります。この機能の詳細は「DET WINDOW」メニューで設定します。 参照→33 ページ | | | | | | | | | | | | |
| DET TONE | 検出範囲の枠を表示する方法を 0～4 で選択します。(初期値：3) 0：検出範囲内の映像を表示し、範囲外は完全に白で塗り潰します。 1：検出範囲内の映像を表示し、範囲外は白で少し透けるようにします。 2：検出範囲内の映像を表示し、範囲外は白でより透けるようにします。 3：検出範囲を示す枠を表示しません。 4：範囲の内外を緑色の枠線で区切ります。 | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <thead> <tr> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>3</th> <th>4</th> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | 0 | 1 | 2 | | | | 3 | 4 | | | | |
| 0 | 1 | 2 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 4 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| MDRECT FILL | 「MOTION OSD」がオンの場合の動きを検出した事を枠で示すか塗り潰して示すかを選択します。 オフ ：動きを検出した範囲を長方形の枠で表示します。 | | | | | | | | | | | | |

| | <p>オン：動きを検出した範囲を長方形に塗り潰して表示します。</p> <table border="1"> <tr> <th>オフ</th> <th>オン</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> | オフ | オン | | |
|------------|--|----|----|--|--|
| オフ | オン | | | | |
| | | | | | |
| 感度 | 検出感度を 0 ～ 10 の範囲で調整出来ます。数値が小さいほど敏感になります。初期値は 5 です。 | | | | |
| MOTION OSD | 動きを検出した部分を赤色の長方形の枠または塗り潰して示す機能のオンとオフを切り換えます。 オフ ：動きを検出した部分を示す枠または塗り潰しを表示しません。 オン ：動きを検出した部分を示す枠または塗り潰しを表示します。 | | | | |
| TEXT ALARM | 動きを検出した場合に、検出したことを文字で表示する機能のオンとオフを切り換えます。 オフ ：動きを検出したことを示す文字を表示しません。 オン ：動きを検出したことを示す文字を表示します。 表示形式は「WINDOW# MOTION !!!」で「#」の部分には「DET WINDOW」メニューの「WINDOW USE」で指定された検出範囲を示す番号が入ります。 | | | | |
| 戻る | イメージメニューに戻ります。 | | | | |

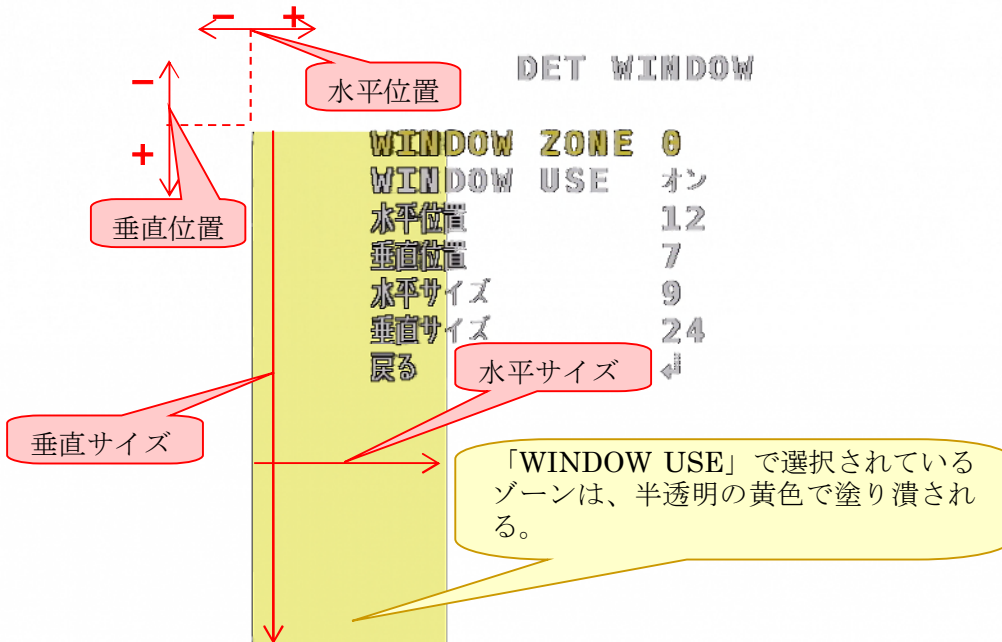


4.1.7.1. DET WINDOW (モーション)



| 項目 | 説明 | | | | | | | | | | |
|-----------------|--|------------|---|---|---|---|-----------------|----|----|--|--|
| WINDOW USE | モーション検出を指定する長方形のエリアを最大 4 箇所まで指定することが出来ます。 「WINDOW ZONE」「水平位置」「垂直位置」「水平サイズ」「垂直サイズ」の項目を設定しようとするゾーンの番号を 0～3 の番号で選択します。 | | | | | | | | | | |
| WINDOW ZONE | <p>選択したゾーン番号を使用するか使用しないかを選択します。</p> <p>オフ：「WINDOW USE」で選択したゾーン番号を使用しません。また、水平と垂直の位置とサイズも変更できなくなります。</p> <p>オン：「WINDOW USE」で選択したゾーン番号を使用します。水平と垂直の位置とサイズは変更出来るようになり、画面には設定値を示す黄色で塗り潰されたエリアが表示されます。</p> <p>「WINDOW ZONE」がオンに設定されている「WINDOW USE」で選択されていないゾーンは表示されません。</p> <p>WINDOW ZONE の初期値は WINDOW USE の番号によって次の表のようになります。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>WINDOW USE</th> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>WINDOW ZONE 初期値</td> <td>オン</td> <td colspan="3">オフ</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 「WINDOW ZONE」で複数そのゾーンが「オン」になっている場合、大きな番号のゾーンは小さな番号のゾーンでマスキングされた状態が表示されます。ゾーン設定の際には面倒でも設定を行う単独のゾーンだけをオンにして設定作業を行ってください。 | WINDOW USE | 0 | 1 | 2 | 3 | WINDOW ZONE 初期値 | オン | オフ | | |
| WINDOW USE | 0 | 1 | 2 | 3 | | | | | | | |
| WINDOW ZONE 初期値 | オン | オフ | | | | | | | | | |
| 水平位置 | 選択したゾーン番号の左端の位置を 0～60 の範囲で指定します。値が小さくなるほど左に移動し、値が大きくなるほど右に移動します。 | | | | | | | | | | |
| 垂直位置 | 選択したゾーン番号の上端の位置を 0～34 の範囲で指定します。値が小さくなるほど上に移動し、値が大きくなるほど下に移動します。 | | | | | | | | | | |

| | |
|-------|--|
| 水平サイズ | 選択したゾーン番号の横の幅を 0 ～ 60 の範囲で指定します。値を小さくするほど検出範囲の右端が左に移動し、値が大きくなるほど検出範囲の右端が右に移動します。 |
| 垂直サイズ | 選択したゾーン番号の縦の幅を 0 ～ 34 の範囲で指定します。値を小さくするほど検出範囲の下端が上に移動し、値が大きくなるほど検出範囲の下端が下に移動します。 |
| 戻る | モーションメニューに戻ります。 |

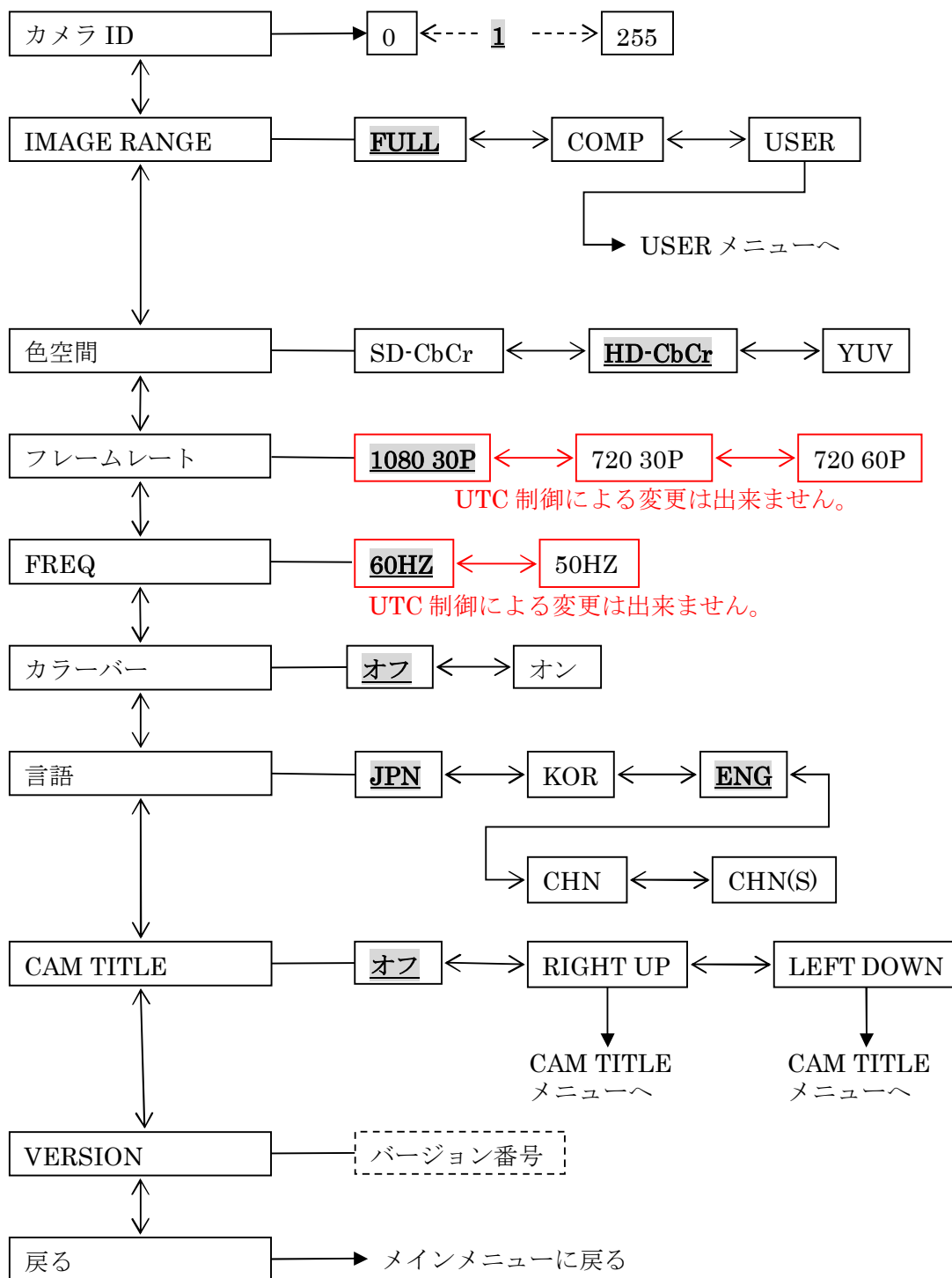


各 WINDOW USE の水平垂直の位置とサイズの初期値は次の表に示します。

| WINDOW USE | 0 | 1 | 2 | 3 |
|------------|----|----|----|----|
| 水平位置 | 1 | 10 | 30 | 50 |
| 垂直位置 | 1 | 11 | 22 | 33 |
| 水平サイズ | 58 | 20 | 20 | 20 |
| 垂直サイズ | 32 | 11 | 11 | 11 |

4.1.8. システム

「システム」メニューでは、システムに関する詳細を設定することができます。

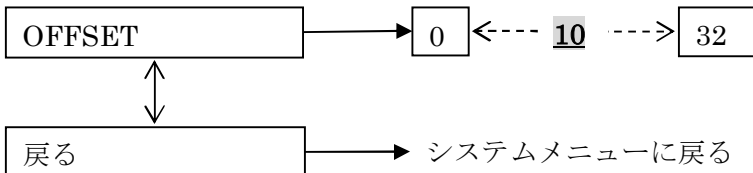


| 項目 | 説明 |
|-------------|--|
| カメラ ID | < 予定機能 > 設定を変更しないでください。初期値： 1 |
| IMAGE RANGE | カメラの映像信号のセットアップレベルを次の中から選択できます。 FULL ：映像信号にセットアップレベルを持たせません。弊社 IRV シリーズの DVR と組み合わせる場合、この設定でご使用ください。 COMP ：映像信号にセットアップレベルを持たせます。 USER ：映像信号にセットアップレベルを持たせ、更にサブメニュー内で 0 ～ 16 ～ 32 の範囲で調整出来ます。 参照 →37 ページ |
| 色空間 | 色を電気信号に変換する際の変換特性を次の中から選択できます。 SD-CbCr ：NTSC (SD, アナログ) 方式のビデオモニターに適した設定です。 HD-CbCr ：HD 方式のビデオモニターに適した設定です。 Y U V ：英国等で使用される PAL (SD, アナログ) 方式のビデオモニターに適した設定です。 |
| フレームレート | 映像信号の解像度とフレームレートの組み合わせを次の中から選択出来ます。 1080 30P ：走査方式 1080P の映像信号を毎秒 30 フレーム出力します。 720 30P ：走査方式 720P の映像信号を毎秒 30 フレーム出力します。 720 60P ：走査方式 720P の映像信号を毎秒 60 フレーム出力します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● この項目は UTC 制御による利用はできません。本体の OSD ノブで変更してください。 ● “30” と表記されている部分は、「FREQ」が 50HZ の場合 25 になります。 ● “60” と表記されている部分は、「FREQ」が 50HZ の場合 50 になります。 </div> |
| FREQ | 各国のテレビジョン方式の基準となる周波数を選択します。 50HZ ：PAL 及び SECAM 方式を採用する地域の場合はこちらを選択します。 60HZ ：NTSC 方式を採用する地域の場合はこちらを選択します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● この項目は UTC 制御による利用はできません。本体の OSD ノブで変更してください。 ● 日本は NTSC 方式を採用する地域ですので「60HZ」に設定してください。 </div> |
| カラーバー | カラーバーを出力する機能です。 オフ ：撮影されたカメラ映像を出力します。 オン ：カラーバー映像を出力します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● カラーバーを出力している状態では、カラーバーに隠れてカメラのメニューは見えなくなりますが、実際のメニュー操作は有効です。そのため不用意な操作をするとカラーバーを消す事が出来なくなる場合があります。そのような場合は無理に操作を続けず、一度カメラの電源を切ってから入れ直してください。 </div> |
| 言語 | 本機の画面に表示する設定メニューに使用する言語を次の中から選択出来ます。 J P N ：日本語 (初期設定) K O R ：韓国語 E N G ：英語 C H N ：繁体中国語 CHN(S) ：簡体中国語 |

| | |
|-----------|--|
| CAM TITLE | カメラタイトルを画面の右上または左下に表示出来ます。使用可能な文字は8文字以内の半角英（大文字）数のみです。 オ フ：カメラタイトルを表示しません。 RIGHT UP：画面右上にカメラタイトルを表示します。 SET ボタンでカメラタイトルを文字列を入力するための「CAM TITLE」メニューに入ります。 参照 →37 ページ LEFT DOWN：画面左下にカメラタイトルを表示します。 SET ボタンでカメラタイトルを文字列を入力するための「CAM TITLE」メニューに入ります。 参照 →37 ページ |
| VERSION | このカメラのファームウェアのバージョン番号を表示します。 |
| 戻る | メインメニューに戻ります。 |

4.1.8.1. USER (システム→IMAGE RANGE→USER)

このメニューでは、出力する映像信号の黒レベルを調整出来ます。



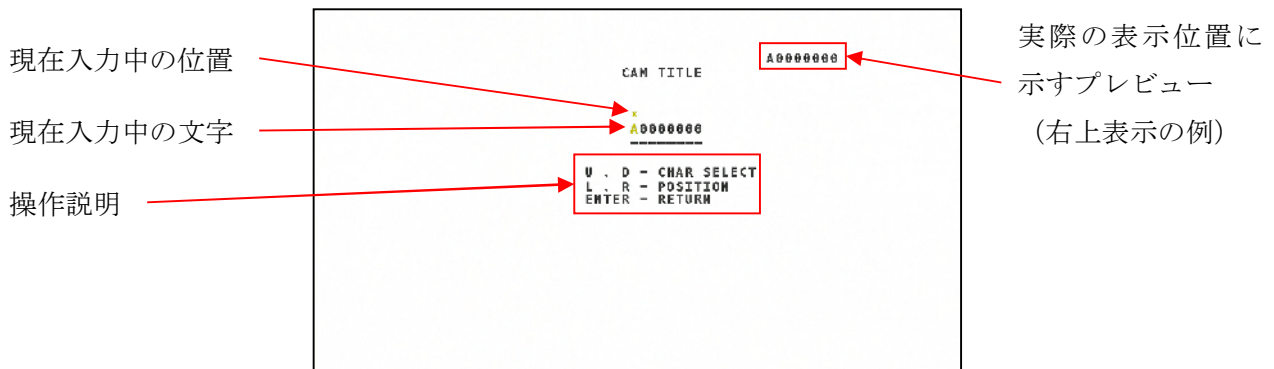
| 項目 | 説明 |
|--------|--|
| OFFSET | 黒レベルを0～32の範囲で調整出来ます。初期値は16です。 黒レベルをペダスタルレベルに合わせたい場合は0に設定してください。 |
| 戻る | 「システム」メニューに戻ります。 |

4.1.8.2. CAM TITLE (システム→CAM TITLE→RIGHT UP (LEFT DOWN))

このメニューでは、カメラタイトルとして画面に表示する文字列を入力します。

このメニュー内では、OSD ノブの操作は次表の機能で動作します。

| 操作 | 説明 |
|-----------|--------------------------------------|
| UP (上) | 入力する文字を選択します。 |
| DOWN (下) | 利用可能な文字は数字と大文字のアルファベットです。 |
| LEFT (左) | 文字の入力位置を選択します。位置は黄色のアスタリスク「*」で示されます。 |
| RIGHT (右) | 入力可能な文字数は8文字以内です。 |
| S (中央) | 「システム」メニューに戻ります。 |



輸入販売元

有限会社 インターラック

〒880-0951 宮崎県宮崎市大塚町窪田 3365-8

TEL: 0985-55-0752

FAX: 0985-55-0815

<http://www.interluck.co.jp>